corega

CG-Biometrics Suite

取扱説明書

Y613-10788-02 Rev.A

目次

はじめに 1

1．本書について 1
本書についてのご注意 1
本書で使われている使用に関しての記号 1
2．安全に正しくお使いいただくために 2
3．指紋センサのクリーニング 6

第1章 CG-Biometrics Suite 概要 1-1

1.1 動作条件 1-1
動作環境 1-1
1.2 各機能の概要 1-2
CG-Logon 1-2
CG-Pass 1-3
CG-Lock 1-3

第2章 インストール 2-1

2.1 ドライバと CG-Biometrics Suite のインストール 2-1
2.2 指紋センサのチェック 2-3
2.3 管理者データの登録 2-4
2.4 指紋認証によるログオン 2-9

第3章 ログオン 3-1

3.1 Windows ログオン 3-1
ログオン方法 3-1
3.2 管理者パスワード認証 3-3

3.3 スクリーンセーバー ロックの起動と解除 3-4
スクリーンセーバー ロックの起動 3-4
スクリーンセーバー ロックの解除 3-4
3.4 CG-Logon のメニュー 3-5
スクリーンセーバー ロック 3-5
ユーザ管理 3-5
オプション 3-5
指紋センサ 3-6
ドメインログオン 3-7
CG-Pass の使用 3-8

第4章 Ctrl+Alt+Del 画面 4-1

4.1 Ctrl+Alt+Del 画面について 4-1

第5章 ユーザ管理 5-1

5.1 ユーザ名と各権限 5-1
5.2 ユーザの登録と変更 5-3
ユーザの新規登録 5-3
登録のヒント 5-9
登録ユーザのデータ変更手順 5-11
5.3 ユーザの削除 5-12
5.4 グループ ID 設定 5-13

第6章 オプション 6-1

6.1 セキュリティ 6-1
認証レベル 6-2
認証終了速度 6-2

6.2 認証設定 6-3
クイック認証 6-3
３６０°認証 6-3
6.3 表示設定 6-4
指紋表示 6-4
ログオン先選択表示 6-4
6.4 ホットキー 6-5
管理者ホットキー 6-5
認証開始ホットキー 6-6
6.5 ログ情報 6-7
ログ情報の表示と消去 6-7
ログ情報のエクスポート 6-9

第7章 CG-Pass について 7-1

7.1 パスワードの登録と入力 7-2
パスワードの登録手順 7-2
■CG-Pass アイコンから登録 7-2
■起動ホットキーから登録 7-4
パスワードの入力手順 7-5
■自動起動による入力 7-6
■起動ホットキーから入力 7-6
7.2 自動起動 7-7
7.3 オプション 7-8
登録パスワード一覧 7-8
■コメントの編集 7-9
■登録パスワードの削除 7-9
起動設定 7-10
■起動ホットキー 7-10
■自動起動 7-10

第8章 CG-Lockについて.....8-1

8.1 ファイルのロック手順 8-1
右クリックメニューからロック 8-2
CG-Lockのショートカットにドラッグ＆ドロップでロック ...8-4
8.2 ファイルのロック解除手順 8-5
右クリックメニューからロック解除 8-5
CG-Lockのショートカットにドラッグ＆ドロップでロック解除8-7
ロックファイルのダブルクリックでロック解除 8-8
8.3 プロパティ 8-9
8.4 オプション 8-10
アプリケーションロック 8-10
■登録手順 8-10
■解除手順 8-11

第9章 アンインストール 9-1

9.1 CG-Biometrics Suiteのアンインストール 9-1
CG-Biometrics Suite アンインストール手順.....9-1

第10章 Q&A 10-1

解決のステップ 10-1
Q&A 10-2

おことわり 11-1

はじめに

このたびは、弊社の指紋認証センサをご購入いただき、誠にありがとうございます。
本書は、指紋認証センサ(以下本商品）の基本的な取り扱い方法、安全にお使いいただくための注意事項などを記載しています。ご使用になる前に本書をよくお読みいただいて、正しく取り扱いをされますようお願いいたします。

1．本書について

本書についてのご注意

・本書の内容の一部または全部を弊社の事前の許可なく無断で転載あるいは、複製することは法律で禁止されています。
・本書の内容は将来予告なく変更することがあります。
・本書や商品について、お気づきの点または、ご不明な点は弊社サポートセンタまでご連絡ください。
・本書はそれぞれのOSにあわせて注意深く用意してはおりますが、将来バージョンアップやOSに変更のあった場合など、パソコンのモニタに実際に表示される表現と差異が出る可能性がありますが、ご了承ください。
・本書編集にあたって万全を期しておりますが、誤りや設定などの例による結果に対し、弊社は責任を負いかねますのでご了承ください。

本書で使われている使用に関しての記号

注意	使用上の注意や機能に対する制限事項などが記述されています。正しい操作を行えるように必ずお読みください。
参考	使用中、参考になることを記述しています。使用方法でわからないときに参考にしてください。

2．安全に正しくお使いいただくために

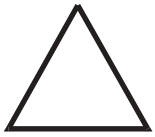
本商品を正しくお使いいただき、お客様や他の人々の生命・身体・財産に危害を与えないために、ここで説明している注意事項を必ずお読みください。

■安全マークについて

本書で使用している表示と図記号の意味は次のとおりです。内容をよく理解してから本書をお読みください。

⚠ 警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が障害を負う可能性が想定される内容、および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

■図記号の意味

	**警告（注意を含む）を促す内容**を示しています。 図中または近くに、具体的な警告（注意）内容が表示されています。
	禁止行為を示しています。 図中または近くに具体的な禁止内容の説明が表示されています。
	行為を規制したり指示する内容を示しています。 図中または近くに具体的な指示内容が表示されています。

⚠ 警告

分解禁止

■本商品を分解したり、改造したりしないでください。火災や感電、故障の原因となります。
本商品の点検・調整・修理は販売店に依頼してください。

禁止

■本商品に接続しているコード類、ケーブル類には、子供が手を触れないよう十分ご注意ください。感電、ケガのおそれがあります。

■本商品に水や異物（クリップ、コイン、先の細いものなど）を入れないように注意してください。火災や感電、故障の原因となります。

■次のような場所で本商品の使用や保管を避けてください。
火災や感電、故障の原因となります。
-極端に暑い場所や寒い場所
-湿気やホコリが多い場所
-急激な温度変化により結露が生じるおそれがある場所
- 強い電界や磁界を発生する場所や、機械（テレビ、ラジオ、電子レンジ、スピーカなど）に近い場所
-薬品が充満している場所や薬品に触れる場所
-激しい振動のある場所

■強い衝撃を与えたり、落としたりしないでください。火災や感電、故障の原因となります。

■本商品が異常に発熱している場合は、パソコンから本商品を外してください。そのまま使用すると、火災や感電、故障の原因となります。異常発熱が発生した場合は、弊社サポートセンタまでご連絡ください。

⚠ 注意

厳守

■帯電した状態で本商品の指紋センサに触れないでください。部品が静電破壊する恐れがあります。静電気を除去してからご使用ください。

■有機溶剤(シンナーやベンジンなど)は使用しないでください。指紋センサ、ケース部分を劣化、変色させる恐れがあります。

■指紋センサ表面のクリーニングは、乾いたやわらかい布で軽く拭き、傷をつけないでください。化学繊維類、ナイロン・ブラシ、あるいは研磨パッド、鋼綿、研磨剤の入った液体や粉を使うと指紋センサ表面を傷つける可能性があります。

■本商品の使用の前には、すべてのコード類、ケーブル類が正確でかつ安全に接続されていることを確認してください。

■指紋センサ表面を硬いもので傷を付けないでください。傷が付くと性能の劣化や故障の原因となります。

■本商品の指紋センサ動作中は、本商品をパソコンから取り外さないでください。故障の原因となります。

■本商品を廃棄する場合は、産業廃棄物となります。必ず産業廃棄物として法令に基づき処理してください。

■直射日光の当たる場所や炎天下の車内など、高温になる場所に長時間放置しないでください。故障やケースが変形する原因となります。

⚠ 免責事項

■本商品は指紋を照合して本人確認を行いますが、完全な本人認証・照合を保証するものではありません。
指紋照合の誤照合・照合失敗によって発生するいかなる損害について当社は一切の責任を負いません。

■本商品を使用したことにより、第三者の知的財産権にかかわる問題が発生した場合、本商品の構造・製法に直接かかわるもの以外につきましては、当社は一切の責任を負いません。

■本商品の使用によってまたは使用できないことによって生じた付随的な損害（付随的・間接的損害、逸失利益の損失、お客様の要求を満たさないために生じた業務上の中断、ビジネス情報の損失またはその他の金銭的損害を含むがこれらに限定されない）に関して、当社は如何なる場合においても一切の責任を負いません。

3．指紋センサのクリーニング

指紋センサ表面は指で直接触れるため、指の汚れが付着します。常に指紋センサ表面をきれいにして、ご使用ください。

汚れがひどい場合は、きれいな綿布、あるいはきれいなティッシュペーパに消毒用アルコールを少量染み込ませたものを使用すると、指紋センサ表面の油などの汚れを取り除くことができます。ただし、綿布、あるいはティッシュペーパを繰り返し使用すると、汚れが綿布やティッシュペーパに付着し、完全に拭き取れずに残ってしまうことがありますので、ご注意ください。

注意

・有機溶剤（シンナーやベンジンなど）は、使わないでください。また、化学繊維類、ナイロン・ブラシ、あるいは研磨パッド、鋼綿、研磨剤の入った液体や粉は使わないでください。指紋センサ表面に傷が付き性能の劣化や故障の原因となります。

第1章 CG-Biometrics Suite 概要

CG-Biometrics Suiteは指紋認証による正確な個人認証を行い、ユーザのコンピュータへのアクセスを監視するセキュリティソフトウェアです。

●CG-Biometrics Suiteに登録されていないユーザはログオンすることができませんので、不正なアクセスを防ぐことができます。
●保存する指紋データはスキャンした指紋画像から抽出した特徴点データですので、このデータから元の指紋画像を復元することは不可能であり、登録ユーザのプライバシを保護します。

1.1 動作条件

動作環境

対応OS	Windows XP
	Windows 2000

注意

・上記、以外のOSには対応しておりません。

1.2 各機能の概要

CG-BiometricsSuite には以下の機能があります。

CG-Logon	指紋によるWindows ログオン、スクリーンセーバー ロックの解除機能
CG-Pass	指紋によるパスワードなどの自動入力
CG-Lock	ファイルのロック（暗号化）と指紋によるロック解除（復号化） アプリケーション起動のロック

CG-Logon

CG-Logon はユーザ管理、オプション設定、ドメインログオンの切り替え、指紋センサ設定、スクリーンセーバー ロックなどを行います。

●Windows ログオン

ユーザ名やパスワードを入力する代わりに、指紋認証により正確に素早く Windows にログオンできます。ログオンするユーザを選択する必要はなく、指紋センサに指を置くだけでユーザを特定し、そのユーザでログオンします。
また、ドメイン環境にも対応しており、メニューからログオン先を切り替えることができます。

●スクリーンセーバー ロック

スクリーンセーバーの起動と同時にコンピュータをロックし、指紋認証でロック解除できます。常駐しているCG-Logonアイコンをダブルクリックし、即座にスクリーンセーバー ロックを起動することもできます。

●ユーザ管理

ユーザ登録画面に従ってユーザ情報を順に入力するだけで、新しいユーザを簡単に追加することができます。ユーザは最大３２ユーザまで登録でき、一覧表で各ユーザの権限を確認できます。
指紋データは１ユーザに対し５指まで登録でき、登録時にはスキャンした指紋画像から抽出した特徴点データの品質をパーセントで表し、より良い品質で登録できるようにガイダンスします。

●ログ情報

ログオン認証、ロック解除認証、ユーザ管理認証、オプション認証での認証ログを最高１００日分（または５０００件）記録できます。

CG-Pass

CG-Pass は指紋認証により、パスワードの自動入力を行うアプリケーションです。CG-Pass にパスワードを登録しておくと、目的の画面でセンサに指を置くだけでパスワードが入力されますので、いくつもパスワードを覚えておく必要がありません。また、パスワードの入力操作を他人に見られることもありませんので、セキュリティも確保します。

●パスワード入力

パスワードが登録されているウィンドウが開くと自動的に認証が始まります。指を指紋センサに置くだけでパスワードが入力されます。設定により、ホットキーで認証を開始することもできます。

●パスワード登録

パスワードの登録は、ウィンドウのガイドに従って操作を行うだけで簡単に行えます。パスワード登録時にはパスワードに対するコメントを付けることができますので、登録パスワードを管理しやすくなります。

●登録パスワード管理

メニューのオプションから登録パスワードが一覧表示され、パスワードの削除やコメントの編集を行うことができます。オプションの実行には登録ユーザの指紋認証が必要ですので、他のユーザに一覧を見られたり、操作をされる心配はありません。

CG-Lock

CG-Lock は指紋認証により、ファイル・フォルダをロックするアプリケーションです。ロックされたファイルの中身は暗号化され、他の人から見られる心配はありません。ロックの解除も指紋センサに指を置くだけでで き、ロック解除の権限にグループ ID を設定することができますので、複数のユーザでロックされたファイルを共有することができます。

●ロック

右クリックメニューの［ロックする（L)］、またはデスクトップの CG-Lock のアイコンにファイル・フォルダをドラッグ＆ドロップすることにより、ファイルまたはフォルダ単位でロックをかけることができます。

●ロック解除

右クリックメニューの［ロック解除する（U)］、デスクトップの CG-Lock のアイコンにファイル・フォルダをドラッグ＆ドロップ、またはロックしたファイルをダブルクリックすることにより、認証が始まりますので、指紋センサに指を置くだけで解除することができます。

●アプリケーションロック

アプリケーションが起動するときに、ロックすることができます。ロック解除できるユーザの設定は、CG-Biometrics Suiteに登録されているユーザすべてとCG-Biometrics Suiteの管理者が選択でき、設定ユーザ以外のアプリケーションの実行を防ぐことができます。アプリケーションの登録と解除はCG-Biometrics Suiteの管理者権限をもつユーザの認証が必要になり、登録されたアプリケーションは一覧画面から確認することができます。

第2章 インストール

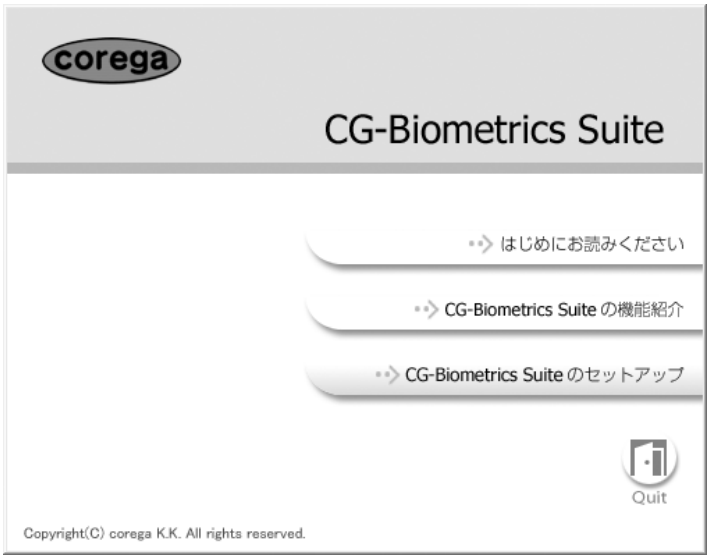
2.1 ドライバとCG-Biometrics Suiteのインストール

CG-SECFPP またはCG-SECFPUのドライバとCG-Biometrics Suiteのインストールの手順について説明します。

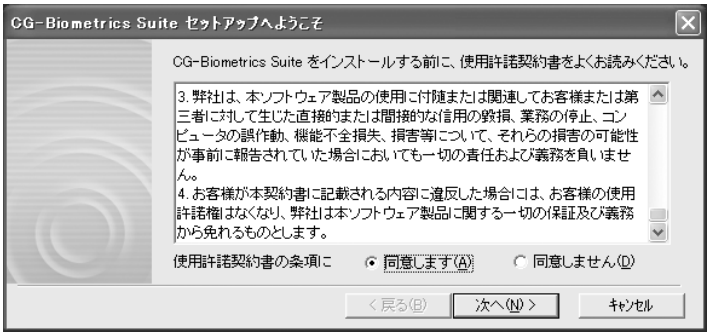
1. パソコンをコンピュータの管理者（Administrators権限）で起動して、付属のCD-ROMをパソコンのCD-ROMドライブにセットします。

参考
・自動的にセットアップが始まらない場合は、CD-ROMドライブ（CD-ROMドライブがDの場合は、Dドライブ）の、Autorun.exeを実行してください。

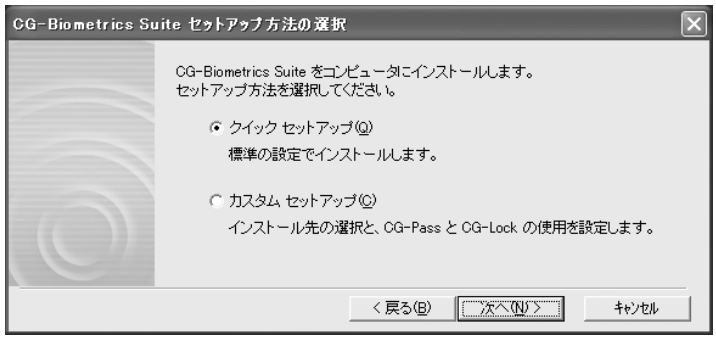
2. スタートメニューが実行されるので、「はじめにお読みください」、「CG-Biometrics Suiteの機能紹介」をご覧いただき、「CG-Biometrics Suite のセットアップ」をクリックします。



3. ソフトウェア使用許諾契約書が表示されるので、必ず内容をよく読み「同意します」を選択して、「次へ」をクリックします。



4. セットアップの方法を選択して、「次へ」をクリックします。

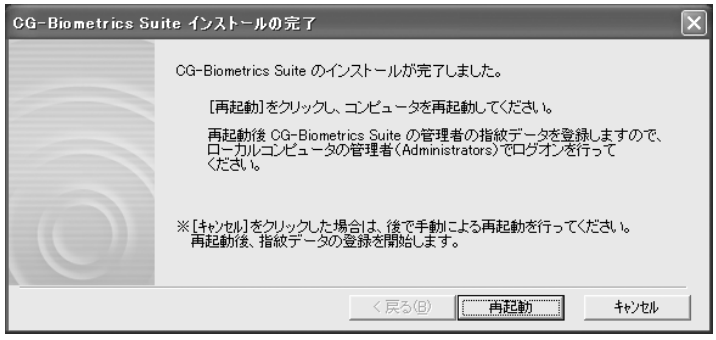


参考

・以降は「クイックセットアップ」の手順に沿って説明します。
「カスタムセットアップ」を選択した場合は、インストール先フォルダの選択と「CG-Pass」「CG-Lock」の使用設定が行えます。

5. CG-SECFPP を使用する場合は、PC カードスロットに接続します。
CG-SECFPU を使用する場合は、USB ポート接続します。

6. インストール完了の画面が表示されるので、「再起動」をクリックして、パソコンを再起動します。

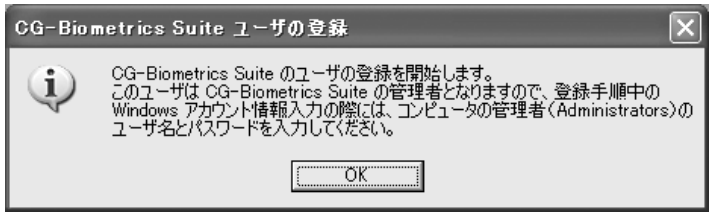


参考

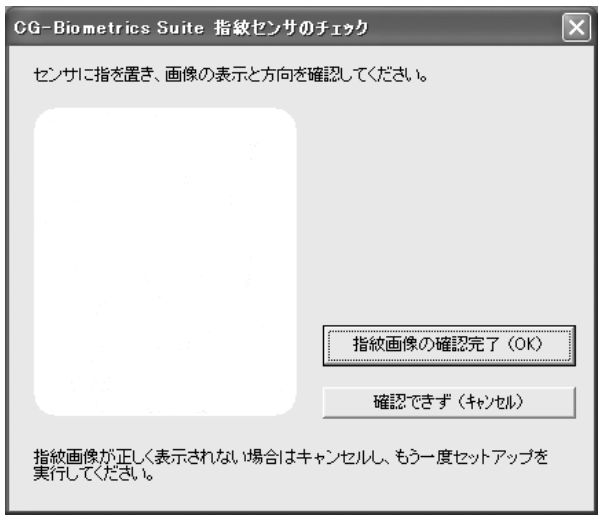
・再起動後は、コンピュータの管理者(Administrators)でログオンしてください。

2.2 指紋センサのチェック

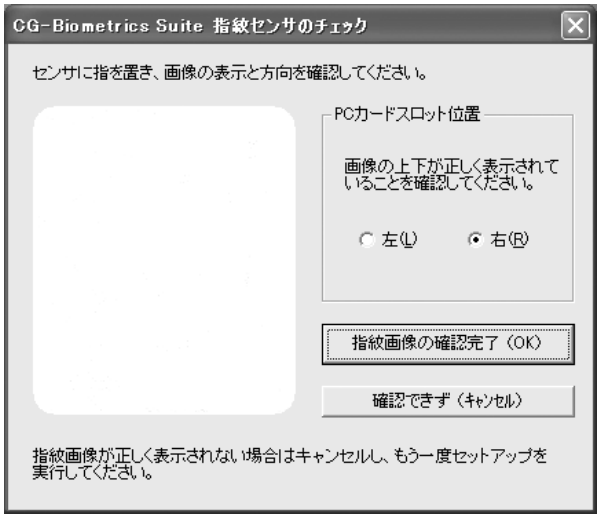
1. パソコンを再起動するとユーザの登録の画面が表示されるので、「OK」をクリックします。



2. センサチェックの画面が表示されるので、指紋センサに指を置いて指紋の画像が表示されることを確認します。確認が完了したら「指紋画像の確認完了（OK)」をクリックします。CG-SECFPP を使用する場合は左右の選択後に「指紋画像の確認完了（OK)」をクリックします。



< CG-SECFPU の場合 >



< CG-SECFPP の場合 >

注意

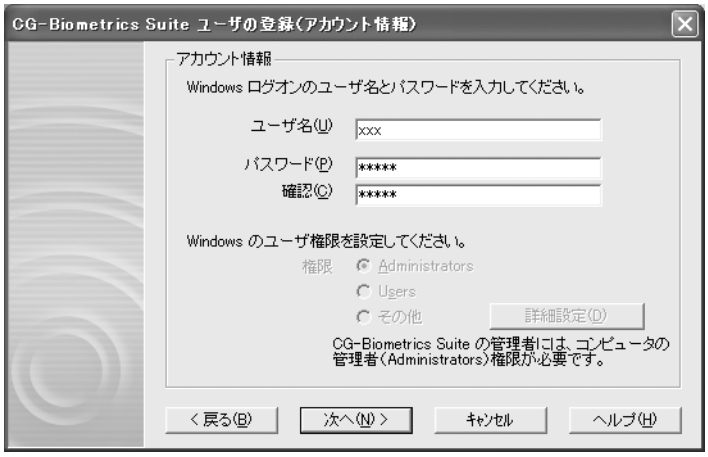
- **ここでは指紋センサのテストのみを行います。指紋の登録操作ではありません。**
- **「確認できず(ｷｬﾝｾﾙ)」をクリックするとCG-Biometrics Suiteのセットアップを中断します。再度セットアップを行う場合は、CG-Biometrics Suiteのインストールからやり直してください。**
- **本商品の指紋センサ動作中は、本商品をパソコンから取り外さないでください。故障の原因となります。**

2.3 管理者データの登録

1. 使用者名入力画面が表示されるので、CG-Biometrics Suite の使用者名を入力して「次へ」をクリックします。

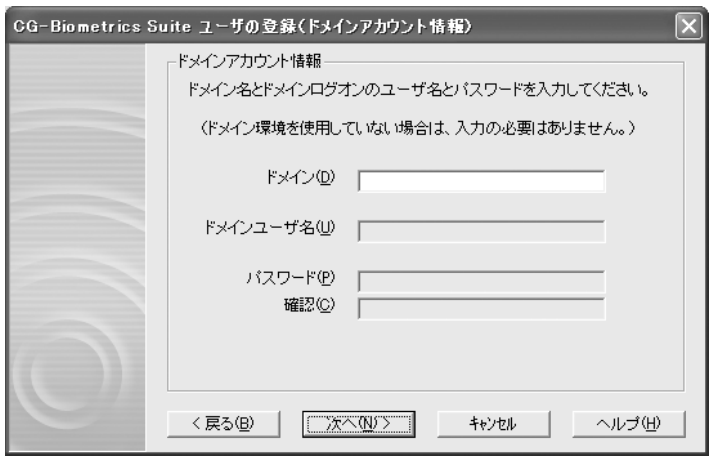
参考
・使用者名の文字数は半角１２８文字までです。
・“ * / \ [ ] " : ; | < > + = , ? ” の文字は使用できません。

2. アカウント情報の画面が表示されるので、Windows のユーザ名とパスワードを入力して「次へ」をクリックします。



参考
・このユーザの Windows ユーザ権限は、指定する必要はありません。
・ユーザ名の文字数は半角２０文字までです。
・スペースと “ * / \ [ ] " : ; | < > + = , ? ” の文字は使用できません。

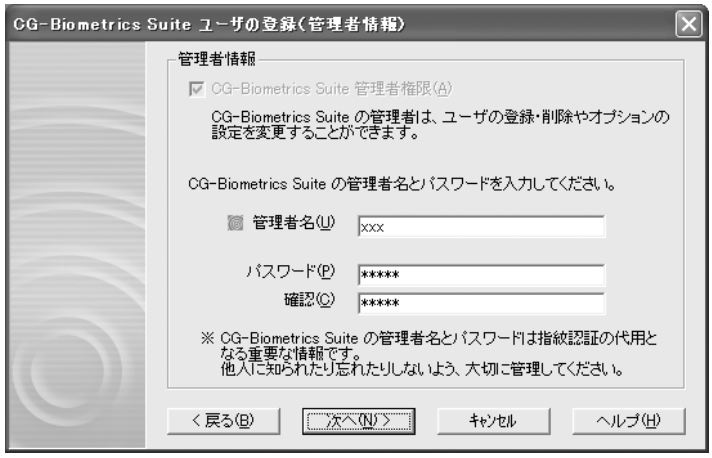
3. ドメインアカウント情報の画面が表示されるので、ドメイン環境を使用している場合は、必要情報を入力して「次へ」をクリックします。



参考

・ドメイン環境を使用しない場合は、入力する必要はありません。
・「ドメイン」の文字数は半角１５５文字までです。
・「ドメインユーザ名」にはドメイン上でのユーザ名を入力してください。
・「ドメインユーザ名」の文字数は半角２０文字までです。スペースと“ * / \ [ ] " : ; | < > + = , ? ” の文字は使用できません。

4. 管理者情報の画面が表示されるので、管理者名とパスワードを入力して「次へ」をクリックします。



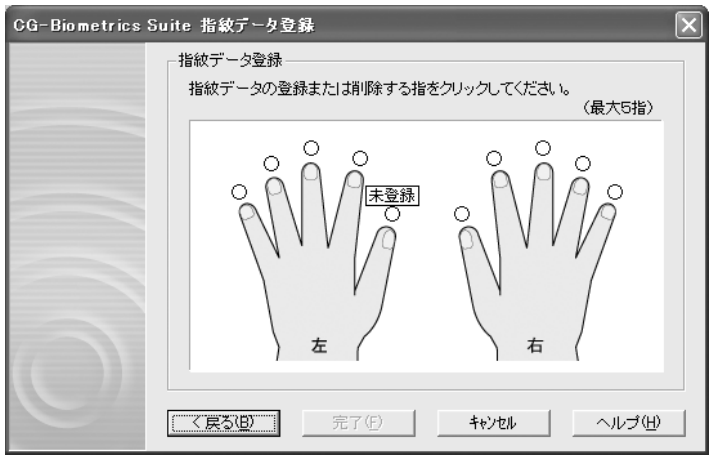
参考

・管理者名の文字数は半角３２文字まで、パスワードの文字数は半角１２８文字までです。
・全角文字は設定できません。

注意

・管理者名とパスワードは、指紋認証を行わずにユーザが管理者であるという証明に使用される非常に重要な情報です。Windows アカウントのユーザ名やパスワードと同じものを設定すると、セキュリティ上問題となる場合がありますので、異なるものを設定することを強くお勧めします。また、管理者名とパスワードはCG-Biometrics Suiteを運用する上でも必要な情報ですので、他人に知られたり忘れたりすることのないよう、大切に管理してください。

5. 指紋データ登録の画面が表示されるので、登録する指をクリックします。

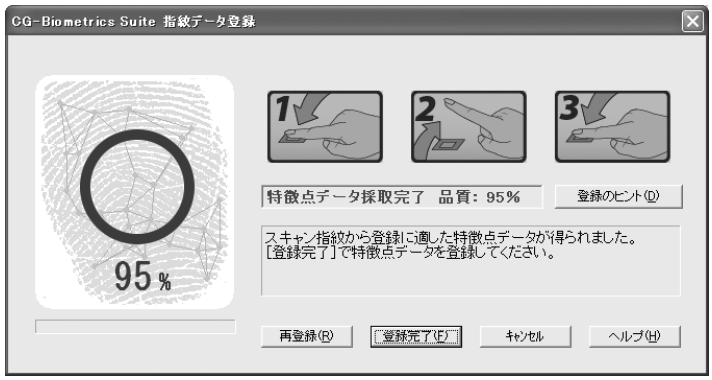


6. 選択した指を指紋センサに置くと指紋画像が表示され、スキャンを開始します。

7. 指紋センサから指を離します。

8. もう1度同じ指を指紋センサに置きます。

9. 登録に成功すると、特徴点データの品質をパーセンテージで表示します。「登録完了」をクリックします。



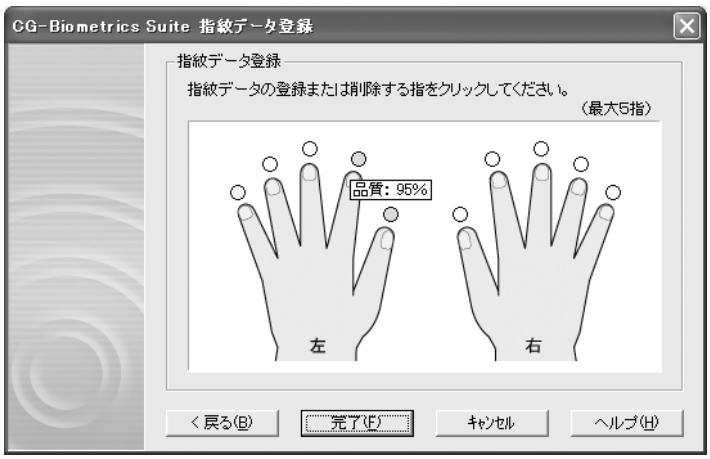
参考

・登録ができなかった場合は、×が表示されます。そのときは、「再登録」をクリックします。

・指紋データの品質が悪い場合は、認証に失敗することがあります。なるべく品質の良い指紋データを登録してください。

・再登録しても○にならない場合は、いったん「キャンセル」をクリックして、指を替えて登録してください。

10. 手順5～9を繰り返して、最大5指まで指紋データを登録することができます。指紋データの登録を完了したら、「完了」をクリックします。



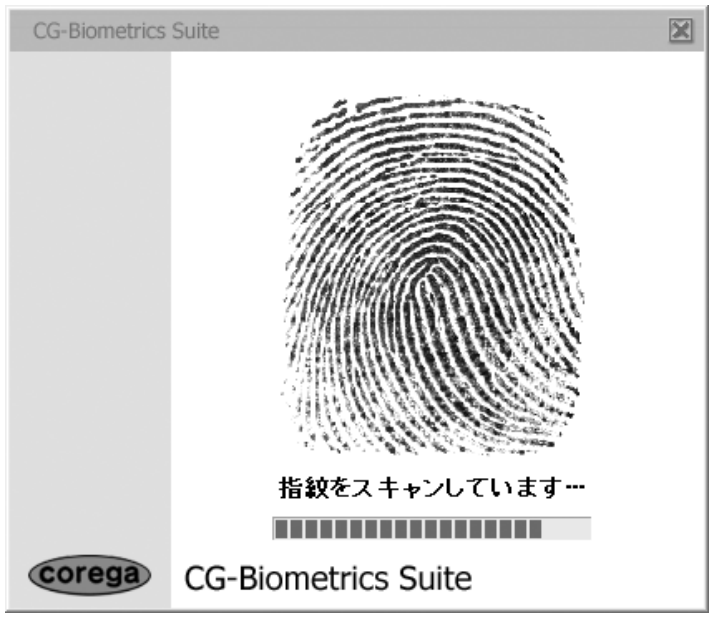
これで、CG-Biometrics Suiteのセットアップは完了しました。再起動を指示するメッセージが表示されますので、「はい」をクリックしてパソコンを再起動します。次回起動時より、指紋認証によるログオンになります。

注意

・本商品の指紋センサ動作中は、本商品をパソコンから取り外さないでください。故障の原因となります。

2.4 指紋認証によるログオン

1. 指紋認証の画面が表示されるので、指紋センサに指を置きます。メータが進み認証されるとWindowsにログオンできます。



2. 認証画面でタイムアウトした場合は、下の画面が表示されます。
再度認証画面を呼び出すには[Ctrl] キーと [Alt] キーを押しながら [Del] キーを押してください。

第3章 ログオン

3.1 Windowsログオン

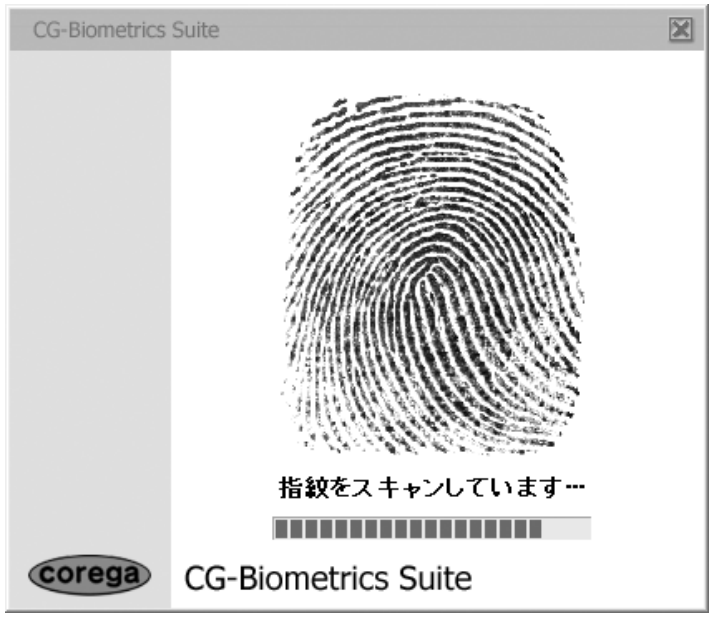
ユーザ名やパスワードを入力する代わりに、指紋認証により正確に素早くWindowsにログオンできます。ログオンするユーザを選択する必要はなく、指紋センサに指を置くだけでユーザを特定し、そのユーザでログオンします。
また、ドメイン環境にも対応しており、メニューからログオン先を切り替えることができます。
CG-Biometrics Suiteをインストールすると、Windowsログオンが指紋認証となります。CG-Biometrics Suiteに登録されているユーザは、指紋センサに指を置くだけでログオンすることができます。

ログオン方法

1. Windowsが起動すると、次の画面が表示されますので、[Ctrl] キーと [Alt] キーを押しながら [Del] キーを押します。

参考 ・この操作は「認証開始ホットキー」の設定で省略することができます。

2. 指紋認証画面が表示されますので、登録している指を指紋センサに置きます。



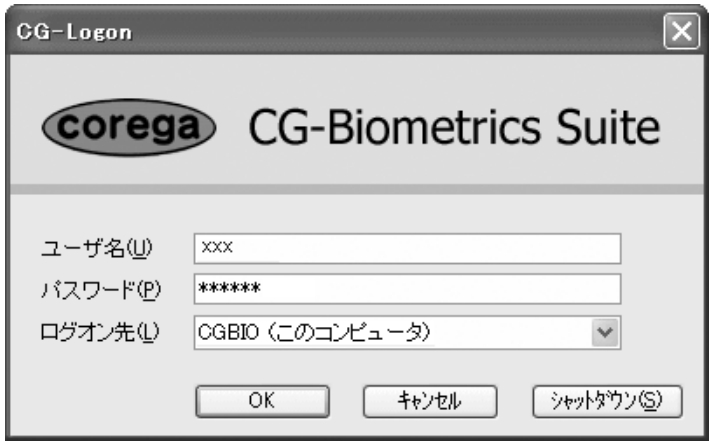
3. 指紋認証に成功すると「認証しました」と表示され、ログオンが行われます。認証に失敗した場合は「認証できません」と表示されます。登録した指を指紋センサに置いているかを確認し、もう一度指紋センサに指を置いてください。

参考
- 認証がうまく行われない場合は、以下の点を参考にし、登録を行ってください。
  - センサ面に対して垂直方向から、ゆっくりと指を置いてください。
  - センサ面全体に指を押し当てるような感じで置いてください。
  - センサ面上で、指をずらさないようにしてください。
  - 指が汗で濡れている場合（指紋画像の指紋が黒く潰れて表示される場合）は、ハンカチなどで汗を拭ったり、手を洗ったりすることをお勧めします。
  - 指先が乾燥している場合（指紋画像の指紋が薄く、はっきり表示されない場合）は、指に市販のハンドクリームを薄く塗り込んでいただくと効果的です。
    ただし指の状態が良い場合でも、特徴点の数が少なかったり、しわや傷が多い場合はうまく登録や照合が行えないことがあります。このような場合には、別の指で登録することをお勧めします。

4. 指紋認証画面の表示中に管理者ホットキーを入力すると、管理者ログオン画面が表示されます。CG-Biometrics Suiteの管理者は、管理者名とパスワードを入力することにより指紋認証を行わずにログオンを行うことができます。

参考
- CG-Logonメニューの「ドメインログオン」の項目にあらかじめチェックを入れておくと、ドメインへのログオンとなります。
- 管理者ホットキーはオプション設定の「ホットキー」－「管理者ホットキー」で設定することができます(管理者ホットキーの初期設定は "Ctrl + Alt + U" です)。

5. オプション設定の「ログオン先選択画面を表示」の項目にチェックが入っている場合、指紋認証後に以下の画面が表示されます。通常のWindowsログオンと同様に、ユーザ名、パスワードを入力し、ログオン先を選択します。

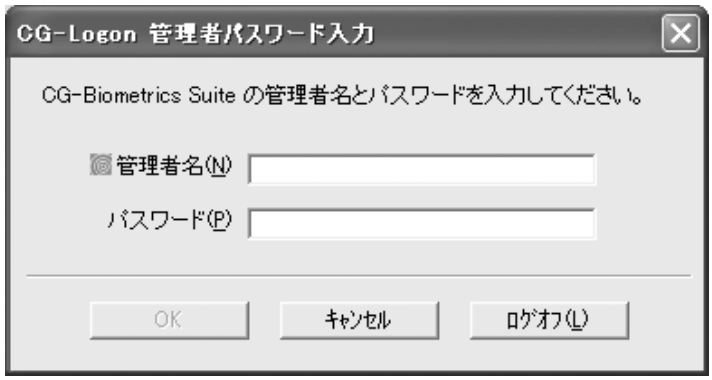


参考
- CG-Logonメニューの「ドメインログオン」の項目にあらかじめチェックを入れておくと、ドメインの設定が初期値になります。
- ユーザ登録を行ったコンピュータ以外でログオンする場合、前回のログオン先が初期値になります。

3.2 管理者パスワード認証

CG-Biometrics Suiteの管理者は、指紋認証がうまく行われない、または指紋センサが使用できないなどの場合に、管理者名とパスワードの入力により認証を行うことができます。

1. 指紋認証画面の表示中に管理者ホットキーを入力すると、管理者パスワード認証画面が表示されます。



参考

・管理者ホットキーはオプション設定の「ホットキー」－「管理者ホットキー」で設定することができます(管理者ホットキーの初期設定は "Ctrl + Alt + U" です)。
詳細は「6.4 ホットキー」を参照してください。

2. 「管理者名」と「パスワード」の欄に、ユーザ登録の際に、管理者情報で設定した管理者名とパスワードを入力します。

3.3 スクリーンセーバー ロックの起動と解除

スクリーンセーバー ロックはスクリーンセーバーを即座に実行し、コンピュータの画面をロックすることができます。スクリーンセーバーの解除は、ログオンユーザ、または管理者でなければ行うことはできません。

参考
・オプション設定で「ログオン先選択画面を表示」をチェックしている場合、ログオン認証時のユーザも解除することができます。

スクリーンセーバー ロックの起動

1. スクリーンセーバー ロックを実行する前にWindowsの「画面のプロパティ」から「スクリーンセーバー」を選択して、使用するスクリーンセーバーを設定します。

2. システムトレイのCG-Logonアイコンを左クリックして表示されるメニューの「スクリーンセーバー ロック」から、スクリーンセーバー ロックを実行することができます。また、CG-Logon アイコンをダブルクリックすることでもスクリーンセーバー ロックを起動することができます。

スクリーンセーバー ロックの解除

スクリーンセーバー ロックの解除は、指紋認証により行います。

1. スクリーンセーバーの起動中にマウス操作などを行うことにより、ロック解除画面が表示されます。

2. 「Ctrl + Alt + Del」を押すことにより、指紋認証画面が表示されます。

参考
・この操作は「認証開始ホットキー」の設定により省略することができます。

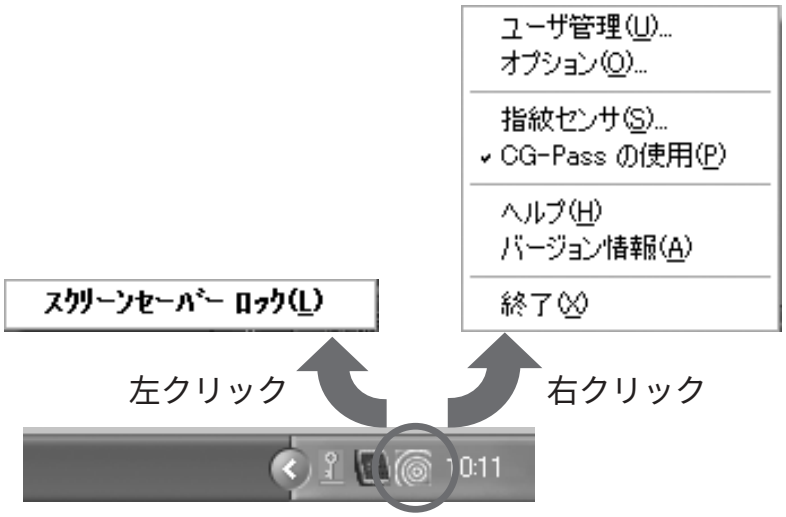
3. ユーザは指をセンサに置くだけでロックの解除を行うことができます。

注意
・スクリーンセーバー ロックの解除を行うことができるのは、ログオンユーザとCG-Biometrics Suiteの管理者です。(オプション設定で「ログオン先選択画面を表示」をチェックしている場合、ログオン認証時のユーザも解除することができます。)

参考
・Windowsログオンの場合と同様、指紋認証画面の表示中に管理者ホットキーを入力することにより、管理者名とパスワードでスクリーンセーバー ロックを解除することができます。

3.4 CG-Logonのメニュー

Windowsのシステムトレイに表示されているCG-Logonアイコンを右クリック、または、左クリックすることで、CG-Biometrics Suiteのユーザ管理や環境設定、スクリーンセーバーロックの起動を行うことができます。



注意 **・「CG-Passの使用(P)」および「終了(X)」は、CG-Biometrics Suiteの管理者がログオンしている場合にのみ表示されます。**

スクリーンセーバー ロック

Windowsシステムのスクリーンセーバーを起動して、画面をロックします。スクリーンセーバー ロックを解除するには指紋認証が必要になります。詳細は本章の「3.3 スクリーンセーバー ロックの起動と解除」を参照してください。

ユーザ管理

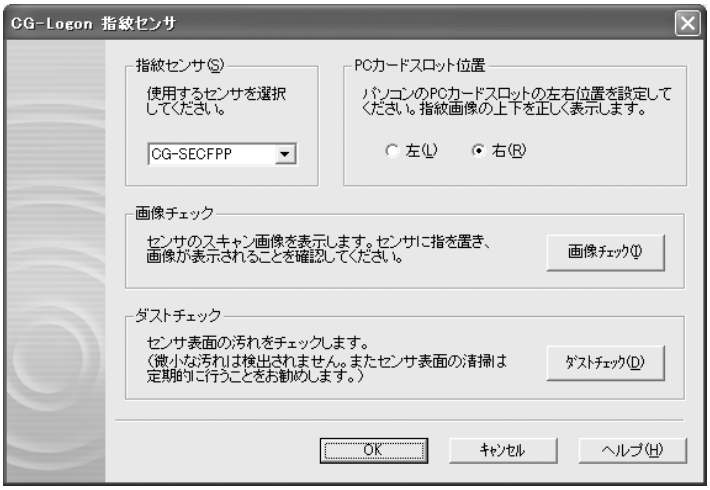
「ユーザ管理」ではCG-Biometrics Suiteの登録ユーザの新規登録や登録内容の変更、登録ユーザの削除が行えます。詳細は「第5章 ユーザ管理」を参照してください。

オプション

「オプション」ではCG-Logonのセキュリティや認証方法などに関する環境設定が行えます。詳細は「第6章 オプション」を参照してください。

指紋センサ

「指紋センサ」では、指紋センサの画像チェックとセンサ表面の汚れや状態をチェックするダストチェックを行います。



指紋センサ

CG-Biometrics Suite に使用する指紋センサを選択します。

PC カードスロット位置

使用しているパソコンのPCカードスロットの左右位置を選択します。(「指紋センサの選択」で CG-SECFPP を選択している場合のみ、この選択を行うことができます。) この位置が正しく選択されていない場合は、指紋画像の上下が逆に表示されます。

注意 **・指紋登録時と認証時の画像の上下が一致していない場合、認証を行うことができません。(「３６０°認証」を使用している場合は認証可能です。) 登録や認証を行う場合は、画像の上下が正しく表示されていることを確認してください。**

画像チェック

[画像チェック (I)] をクリックするとセンサのスキャン画像が表示されます。センサに指を置き、スキャン画像の表示を確認してください。
指を置いても画像に反応が無い場合や、画像が一様に黒い (白い)、または黒い (白い) 線が縦や横に入っている場合はセンサの異常が考えられますので、修理が必要です。

ダストチェック

[ﾀﾞｽﾄﾁｪｯｸ(D)] をクリックすると、センサ表面の汚れや状態のチェックを行います。汚れが検出された場合は柔らかい布でセンサ表面を拭き取り、再度チェックを行ってください。状況が改善されない場合はセンサ破損の可能性がありますので、「画像チェック」でスキャン画像を確認してください。
センサ破損が検出された場合、認証は可能ですが精度に影響が出てきます。「画像チェック」でスキャン画像を確認し、見た目に激しい破損の場合は、修理をお勧めします。

注意
・このチェックでは微小な汚れは検出することはできません。また、センサの清掃は定期的に行うことをお勧めします。センサ表面は柔らかい布で拭き取るようにし、汚れがひどい場合はアルコールで汚れを落としてください。

ドメインログオン

システムトレイの CG-Logon アイコンを右クリックし、表示されるメニューから「ドメインログオン」を選択することにより、ログオン先のドメインの切り替えを行うことができます。(ローカルまたはドメインのどちらか一方のみの登録しか行っていない場合は、このメニューは表示されません。)

ログオン先の切り替え

メニューの「ドメインログオン」にチェックがついていない場合、次回のログオンはローカルログオンとなり、チェックがついている場合は次回のログオンはドメインログオンとなります。「ドメインログオン」を選択するとチェックのオン・オフが切り替わり、次回のログオンについてのメッセージボックスが表示されます。(オプション設定で「ログオン先選択画面を表示」をチェックしている場合、ログオン先選択画面のユーザ名とログオン先に反映されます。)

注意
・新規登録されたユーザは、ドメインアカウントが入力されている場合は初期状態でドメインログオンとなります。また、ログオンユーザのアカウント情報を変更し、ドメインアカウント情報を削除した場合はこのメニューは表示されなくなります。また、ユーザ登録を行ったコンピュータ以外にログオンしている場合、このメニューは表示されなくなります。

CG-Passの使用

CG-Passを使用すると、登録したパスワードを指紋認証により自動的に入力することができます。CG-Passが実行されている場合は、システムトレイにCG-Passアイコンが表示されます。

システムトレイのCG-Logonアイコンを右クリックし、表示されるメニューの「CG-Passの使用（P)」により、CG-Logonの起動時にCG-Passを実行するかどうかの設定を行います。この項目にチェックが入っている場合は、CG-PassがCG-Logonの起動とともに実行されることを表しており、チェックが入っていない場合は、実行されないことを表しています。チェックのオン／オフは、この項目を選択するごとに切り替わります。

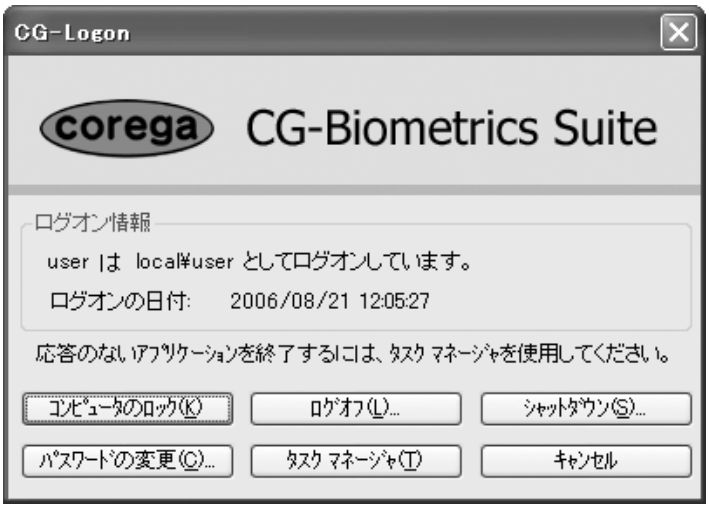
注意

- **CG-Biometrics Suiteの管理者以外のユーザがログオンしている場合は、このメニューは表示されません。**
- **この項目は現在のCG-Passの実行状態を表したものではありませんので、CG-Passを直接実行／終了してもチェックのオン／オフに変化はありません。**
  ただし、CG-Passが実行されていない状態でチェックを入れた場合、CG-Passは自動的に実行されます。また、CG-Passの実行中にチェックをはずした場合は、終了確認メッセージボックスが表示されます。CG-Passを終了させる場合は［はい（Y)］、引き続き使用する場合は［いいえ（N)］をクリックしてください。

第4章 Ctrl+Alt+Del画面

4.1 Ctrl+Alt+Del画面について

ログオン中にCtrl+Alt+Delを入力した場合のCtrl+Alt+Del画面について説明します



●ログオン情報
・ログオンしているユーザ名、マシン名、ログオンした時間を表示しています。
●コンピュータのロック
・コンピュータをロックします。
●ログオフ
・確認画面を表示し、ログオフします。
●シャットダウン
・確認画面を表示し、シャットダウンします。
●パスワードの変更
・指紋認証画面を表示し、パスワードを変更します。
●タスクマネージャ
・Ctrl+Alt+Del 画面を閉じ、デスクトップを表示してタスクマネージャを起動します。
●キャンセル
・Ctrl+Alt+Del 画面を閉じてデスクトップを表示します。

第5章 ユーザ管理

「ユーザ管理」ではユーザの登録や登録内容の変更、削除が行えます。ユーザ管理を実行するには下記の手順で行います。

1. システムトレイのCG-Logonアイコン（ ）を右クリックします。
2. 表示されたメニューから「ユーザ管理（U)」を選択すると、ユーザ管理画面が表示されます。

> 注意
> **・この操作を行うには、CG-Biometrics Suiteの「管理者」の認証が必要です。**

5.1 ユーザ名と各権限

ユーザ管理画面

ユーザ管理画面の「登録ユーザ」は、CG-Biometrics Suiteに登録されているユーザを表示しています。CG-Logonの機能を利用するユーザはCG-Biometrics Suiteへの登録を行う必要がありますので、Windows上にアカウントを持っているユーザでも、ここに表示されていないユーザはログオンすることはできません。
「使用者名」は、CG-Biometrics Suiteに登録されているユーザを表示しています。CG-Logonの機能を利用するユーザはCG-Biometrics Suiteへの登録を行う必要がありますので、Windows上にアカウントを持っているユーザでも、ここに表示されていないユーザはログオンすることはできません。「ユーザ名」は、Windows上でのローカルユーザ名を表しています。（ドメインへのログオンのみ許可されているユーザは、この欄は空欄となります。）
使用者名の左にCG-Logonアイコン（ ）が付いているユーザは、CG-Biometrics Suiteの「管理者」であることを表しています。「管理者」になるためには、ローカルコンピュータの「コンピュータの管理者（Administrators)」である必要があります。また、CG-Biometrics Suiteの登録ユーザのうち少なくとも一人は「管理者」でなければなりません。

参考

・「管理者」は、CG-Biometrics Suite の全ての機能を利用することができますが、それ以外のユーザは一部の機能は利用できません。下の表を参照してください。

機能	管理者	非管理者
インストール・アンインストール	○	×
Windowsログオン	○	○
スクリーンセーバー ロック	○※1	○
ユーザ管理	○	×
オプション	○	×
指紋センサ	○	○
CG-Pass	○	○

【※１】「管理者」は、他のユーザがロックした画面でも解除することができます。

「Windows 権限」は、ローカルコンピュータでの Windows 上の権限を表しています。「コンピュータの管理者（Administrators)」は Windows 上の操作に制限はありませんが、「制限ユーザ（Users)」はシステムに関連する操作などに制限があります。

「ドメイン」「ドメインユーザ名」は、ドメインログオンを行うドメイン先とドメイン上のユーザ名を表しています。ローカルログオンのみを行う場合は、これらの欄は空欄となります。ドメイン先での Windows 権限はドメインコントローラで設定されていますので、CG-Biometrics Suite での権限変更は行えません。

5.2 ユーザの登録と変更

ユーザの登録や変更は、ユーザ管理画面から行います。

参考
・登録ユーザの最大数は３２ユーザです。
・ログオンユーザかCG-Biometrics Suiteの管理者が１ユーザの場合は、そのユーザを削除することはできません。

ユーザの新規登録

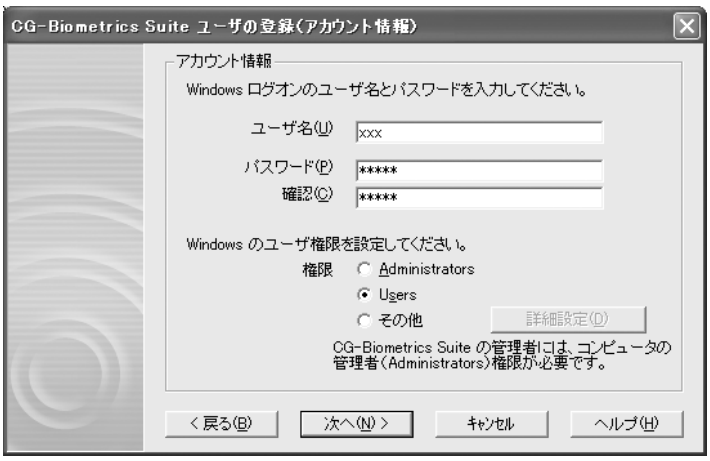
1. 使用者名の欄の「新規登録」をダブルクリックするか、選択後［次へ（N)］をクリックします。

2. 使用者情報入力画面が表示されます。

「使用者名」にCG-Biometrics Suiteを使用するユーザの名前を入力します。使用者名は自由につけることができます。使用者名はログ情報画面に表示されます。

参考
・使用者名の文字数は半角１２８文字までです。
・“ * / \ [ ] " : ; | < > + = , ? ” の文字は使用できません。

3. アカウント情報入力画面が表示されます。



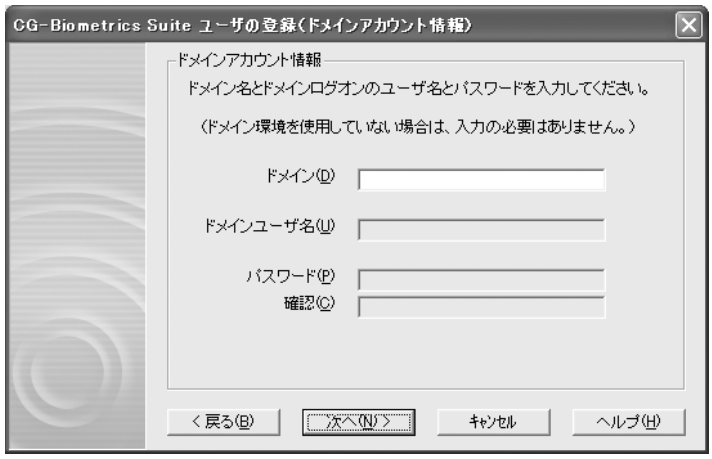
「ユーザ名」には、ローカルコンピュータのWindows上でのユーザ名を入力してください。

参考
・ユーザ名の文字数は半角２０文字までです。
・スペースと“ * / \ [ ] " : ; | < > + = , ? ”の文字は使用できません。

「Windows のユーザ権限」には、ユーザの Windows 上での権限の設定を行います。
「コンピュータの管理者 (Administrators)」はWindows上の操作に制限はありませんが、「制限ユーザ（Users)」はシステムに関する操作などに制限があります。また、CG-Biometrics Suite 管理者になるユーザは、「コンピュータの管理者（Administrators)」である必要があり、登録ユーザのうち少なくとも一人は「コンピュータの管理者(Administrators)」でなければなりません。
「その他」をクリックすると、「詳細設定(D)」で Administrators や Users 以外の権限を選択することができます。

注意
・既に Windows 上にアカウントのあるユーザを CG-Biometrics Suite に登録するには、ユーザ管理画面で「新規登録」を選択し、そのユーザ名とパスワードを入力してください。設定しているパスワードと一致しないなど、入力情報が正しくない場合は CG-Biometrics Suite のユーザに登録することができません。

4. ドメインアカウント情報入力画面が表示されます。ユーザのドメインでのアカウント情報を入力します。



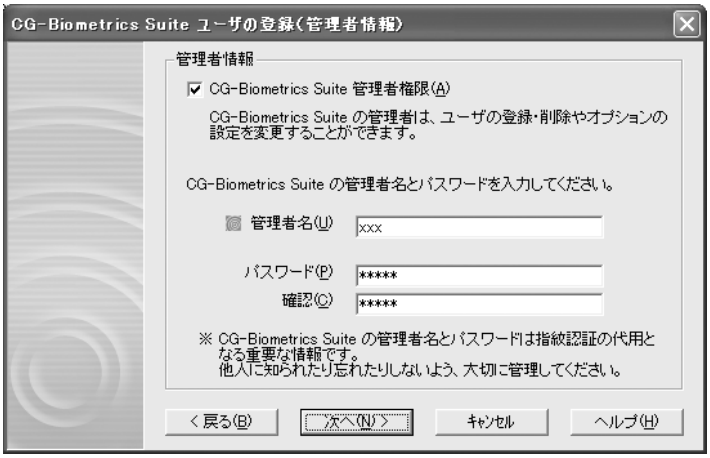
「ドメイン」にログオンを行うドメイン名を入力します。
ドメイン環境を使用していない場合は、ドメイン、ドメインユーザ名、パスワードを未入力のまま［次へ（N)］をクリックしてください。

参考

- 「ドメイン」の文字数は半角１５５文字までです。
- 「ドメインユーザ名」にはドメイン上でのユーザ名を入力してください。
- 「ドメインユーザ名」の文字数は半角２０文字までです。スペースと“ * / \ [ ] " : ; | < > + = , ? ”の文字は使用できません。

5. 管理者情報入力画面が表示されます。
ユーザの CG-Biometrics Suite の管理者情報を入力します。

参考
・Windows の「コンピュータの管理者（Administrators)」でないユーザと、ドメインログオンのみを行うユーザは、ここでの入力項目はありません。



管理者権限

アカウント情報のWindows上の権限で「コンピュータの管理者（Administrators)」を設定したユーザに対して、CG-Biometrics Suite の管理者権限の設定を行います。CG-Biometrics Suiteの管理者として登録する場合は、チェックボックスにチェックを入れ、管理者名とパスワードを入力します。

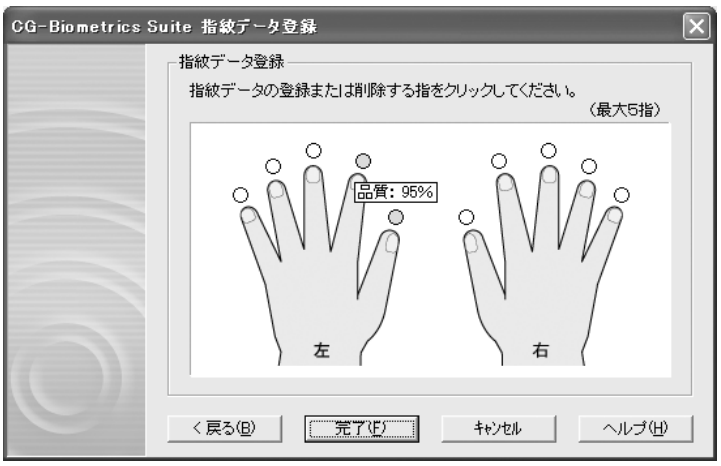
管理者名とパスワード

「管理者名」にはユーザの CG-Biometrics Suite の管理者名を入力します。
「パスワード」に管理者パスワードを入力し、「確認」の欄にもう一度同じパスワードを入力します。

注意
・管理者名とパスワードは、指紋認証を行わずにユーザが管理者であるという証明に使用される非常に重要な情報です。Windows アカウントのユーザ名やパスワードと同じものを設定すると、セキュリティ上問題となる場合がありますので、異なるものを設定することを強くお勧めします。また、管理者名とパスワードはCG-Biometrics Suiteを運用する上でも必要な情報ですので、他人に知られたり忘れたりすることのないよう、大切に管理してください。

参考
・管理者名の文字数は半角３２文字まで、パスワードの文字数は半角１２８文字までです。全角文字は設定できません。
・既存のユーザがCG-Biometrics Suiteの管理者の場合は、管理者名とパスワードの欄にすでに登録されている情報が入力されていますので、変更を行う場合以外はこの欄への入力は必要ありません。

6. ユーザの指紋データの登録を行います。指紋データは少なくとも２指以上登録することをお勧めします。登録可能な特徴点データ数は各ユーザに対し最大５指までとなっています。



7. 特徴点データが未登録の指の丸印（白色）をクリックすると、指紋データ登録画面が表示されますので、選択した指のデータ登録を行ってください。登録が完了すると丸印は緑色に変わります。上記の操作を繰り返すことにより、他の指のデータも登録することができます。

指紋登録画面が表示されます。
指紋センサに登録する指を置きます。

指紋のスキャンが始まりますので、そのまま指をセンサに置いておきます。

8. 指紋センサから指を一度離します。

9. もう一度同じ指を置きます。

登録結果が表示されるまで、指をセンサに置いておきます。

登録結果

特徴点データが得られた場合は「○」が表示され、指紋データの品質が１～１００%で表示されます。(品質の目安は「登録のヒント」の「特徴点データ採取完了」の項目を参照してください。) 登録を行う場合は［登録完了（F)］を、もう一度データを取り直すには［再登録（R)］をクリックしてください。

特徴点データが得られない場合には「×」が表示され、ガイダンスエリアに以下のメッセージが表示されます。

・特徴点データ不一致
・特徴点データ類似
・ 指紋スキャン時間オーバー

［再登録（R)］をクリックして指紋を取り直すか、［ｷｬﾝｾﾙ］で別の指を選択しなおしてください。

手順6～9を繰り返して、最大5指まで指紋データを登録します。指紋データの登録が完了したら完了をクリックします。

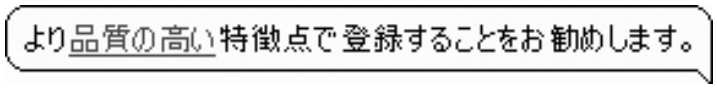
登録のヒント

[登録のヒント（D)] をクリックすると、ガイダンスエリアのメッセージに対する意味の詳細と、対処方法が表示されます。指紋データの品質や、登録がうまくいかないなどの場合に参照してください。

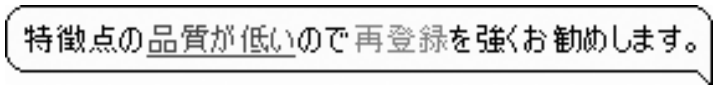
指紋のスキャンが終了すると、指紋データ登録画面、または画面上のガイダンスエリアにメッセージが表示されます。ここでは、その内容と対処方法について説明します。
より良い指紋データを登録するには、「指紋データ登録のヒント」の項目を参照してください。

◎バルーンメッセージ

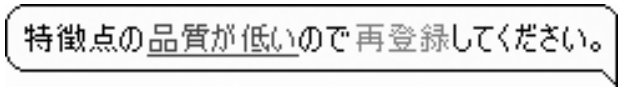
バルーンメッセージが表示された場合、特徴点データの品質が高くないことを示しています。登録後の認証に影響がでますので、[再登録（R)] をクリックし、できるだけ品質の良いデータを登録してください。以下にバルーンメッセージとパーセントの数値、データ品質を説明します。



指紋認証を行うことができます。ただし、あまり高い品質ではありませんので、可能な場合は再登録を行い、より高い品質の特徴点データを採取することをお勧めします。



指紋認証を行うことができますが、指紋認証時に本人の認証に失敗したり、他人が誤って認証される可能性のある特徴点データです。再登録を行い、より高い品質の特徴点データを採取することを強くお勧めします。



指紋認証時に本人の認証に失敗したり、他人が誤って認証される可能性の高い特徴点データです。どうしても高品質な特徴点データが得られない場合は、別の指で登録をし直すか、認証精度が前述のものであることを確認のうえ登録を行ってください。

◎ガイダンスメッセージ

特徴点データ採取完了　品質:　%

このメッセージが表示された場合､特徴点データが登録可能であることを示しています。ただし品質によって､登録後の認証に影響がでますので､できるだけ品質の良いデータを登録してください。以下にパーセントの数値とデータ品質の目安を説明します。

●品質：１００%～７５%

指紋認証に適した特徴点データで､高い照合精度が得られます｡特徴点データを登録してください。

●品質：７４%～５０%

指紋認証を行うことができます｡ただしあまり高い品質ではありませんので､可能な場合は再登録を行い、より高い品質の特徴点データを採取することをお勧めします。

●品質：４９%～１%

指紋認証時に本人の認証に失敗したり､他人が誤まって認証される可能性のある特徴点データです｡どうしても高品質な特徴点データが得られない場合は､別の指で登録をし直すか、認証精度が前述のものであることを確認のうえ登録を行ってください。

特徴点データ不一致

指紋データ登録では､信頼性の高い特徴点データを得るため指紋のスキャンを２回行い、この２つの特徴点データの照合に成功した場合に､採取されたデータを登録可能な特徴点データとしています。

特徴点データの不一致は､センサへの指の置き方により解消される場合があります｡再登録の際には､「指紋データ登録のヒント」の項目を参照してください。

特徴点データ類似

得られた特徴点データと類似している特徴点データが､既に登録されています｡類似指紋は誤認証の原因となりますので登録できません｡別の指を選択して､登録し直してください。

また､選択した指と､実際に置かれた指が異なっている可能性もありますので､登録を行う指をもう一度確認してください。

指紋スキャン時間オーバー

指紋のスキャン時間は１分です｡特徴点データが時間以内に採取できませんでしたので､再登録を選択しもう一度指紋のスキャンを行ってください。

また､指の状態や置き方によって､特徴点データが採取しにくい場合があります｡｢指紋データ登録のヒント」の項目を参照してください。

◎指紋データ登録のヒント

指紋データ登録の際は、以下の点を参考にし、登録を行ってください。

・センサ面に対して垂直方向から、ゆっくりと指を置いてください。
・センサ面全体に指を押し当てるような感じで置いてください。
・センサ面上で、指をずらさないようにしてください。
・２回目のスキャンのために指を置くときは、１回目の場合と同じような位置に指を置いてください。

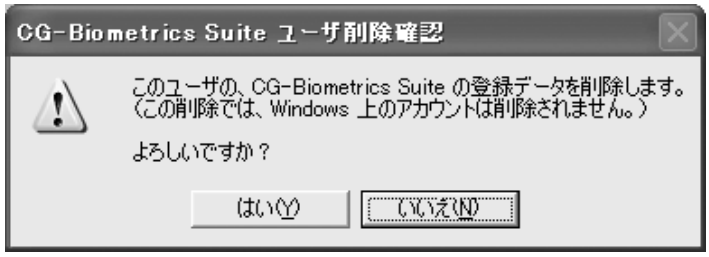
また、指が汗で濡れている場合（指紋画像の指紋が黒く潰れて表示される場合）は、ハンカチなどで汗を拭ったり、手を洗ったりすることをお勧めします。
逆に、指先が乾燥している場合（指紋画像の指紋が薄く、はっきり表示されない場合）は、指に市販のハンドクリームを薄く塗り込んでいただくと効果的です。
ただし指の状態が良い場合でも、特徴点の数が少なかったり、皺や傷が多い場合はうまく登録や照合が行えないことがあります。このような場合には、別の指で登録することをお勧めします。

登録ユーザのデータ変更手順

1. 使用者名をダブルクリックするか、選択後［次へ（N)］をクリックします。
2. アカウント情報入力画面が表示されますので、変更を行う部分のみ入力し直して登録を行います。

5.3 ユーザの削除

1. 使用者名を選択して、［削除（D)］をクリックすると削除確認の画面が表示されます。



2. 削除を行う場合は［はい（Y)］を選択してください。削除が実行されます。

参考

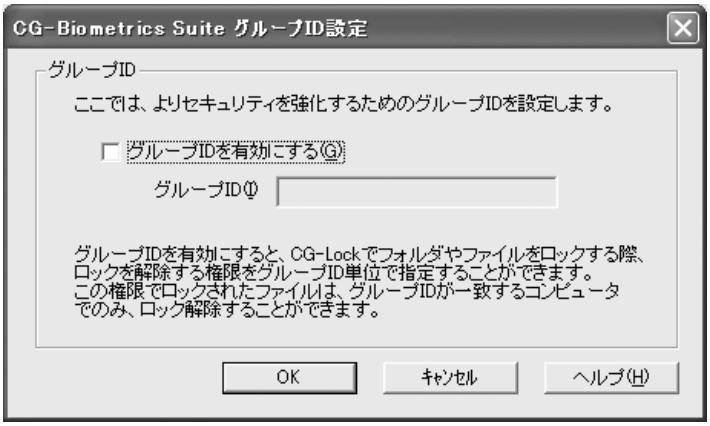
・Ctrlキーを押したまま、 削除ボタンを押すと、WindowsおよびCG-Biometrics Suiteのアカウント情報を削除することができます。

注意

・ローカルユーザの Windows アカウントの操作は、このユーザ管理から行ってください。Windows 上でユーザアカウントを削除したり権限の変更などを行うと、CG-Biometrics Suite が正常に動作しなくなります。

5.4 グループID設定

[グループID設定(S)]をクリックするとCG-Biometrics Suite グループID設定画面が表示されます。ここでは、コンピュータのグループIDの設定・解除を行います。



コンピュータに設定する「グループID」を入力します。グループIDの文字数は半角32文字までです。CG-Lockでフォルダやファイルをロックする際、ロックを解除する権限を、グループID単位で指定することができます。

注意 **・コンピュータのグループIDを設定後、途中でグループIDを変更すると、グループIDの権限でロックしたファイルは、ロックした本人のみしかロック解除できなくなります。**

第6章 オプション

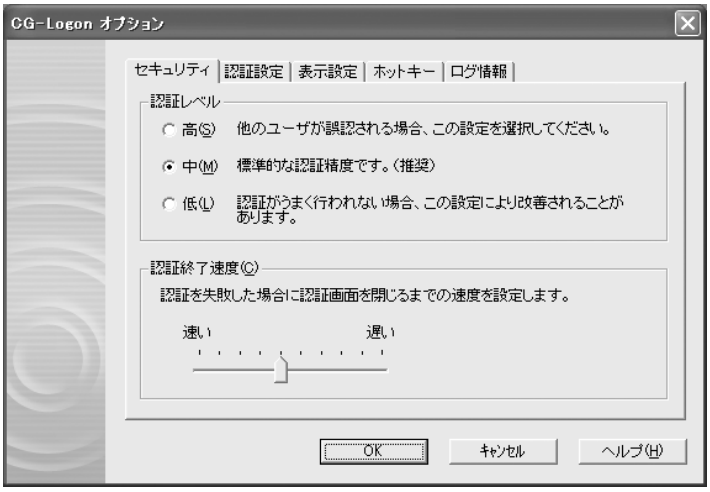
CG-Logonのセキュリティや認証方法などに関する設定は、「オプション」設定画面にて行います。「オプション」設定画面はを下記の手順で起動します。

> **・オプションの操作を行うには、CG-Biometrics Suiteの管理者認証が必要です。**
> 注意

1. システムトレイのCG-Logonアイコン（ ）を右クリックします。
2. 表示されるメニューから「オプション（O)」を選択します。
3. 「セキュリティ」「認証設定」「表示設定」「ホットキー」「ログ情報」のタブを選択することにより、各設定を行うことができます。
4. [OK]をクリックすると、全ての項目について現在設定されている値を反映させて終了します。[ｷｬﾝｾﾙ]をクリックすると、変更を反映させずに終了します。

6.1 セキュリティ

「オプション」画面の「セキュリティ」タブを選択することにより、認証レベルと認証終了速度の設定を行うことができます。これらの設定は指紋認証のセキュリティに関わってきますので、使用する場面や環境を考慮した上で適切な値を設定してください。
オプションの操作を行うには、CG-Biometrics Suiteの管理者認証が必要です。



認証レベル

指紋認証の精度を「高」「中」「低」の３段階で設定することができます。以下に各設定レベルについて説明します。

●認証レベル：高

指紋認証時に本人以外のユーザが誤まって認証されることが多い場合、この設定を選択します。ただし、本人が認証されない場合も多くなることがあります。

●認証レベル：中

標準的な認証精度です。認証に特に問題が無い場合は、この設定を選択することをお勧めします。

●認証レベル：低

指紋認証時に本人認証に失敗することが多い場合、この設定を選択します。ただし、他人が誤まって認証される場合も多くなることがありますので、使用する場面を考慮して設定してください。

認証終了速度

指紋認証中、認証に失敗すると「認証できません」というメッセージが表示されます。ここでは、このメッセージの表示から指紋認証画面を閉じるまでの速度を設定します。この速度が速いほど認証失敗後に続けて指紋照合を行うことができる時間が短くなりますので、不正な照合が繰り返される機会を減らすことができます。この設定を「速い」に設定すると、認証の失敗後即座に認証画面を閉じます。
また、この設定は認証画面が閉じるまでの制限時間とも関わっており、「速い」に設定すると約１０秒で認証画面を閉じます。

注意

・ここで指している「速度」とは相対的なものであり、指の置き方や状態などにより時間は変化します。また、「クイック認証」を使用している場合は、使用していない場合に比べてこの速度がより速くなります。

6.2 認証設定

「オプション」画面の「認証設定」タブを選択することにより、クイック認証の使用と３６０°認証の設定を行うことができます。これらの設定を行うことで、より快適な指紋認証を行うことができます。

クイック認証

「クイック認証（Q)」にチェックを入れると、指紋認証を高速で行うことができます。ただし、指の状態や登録データの品質によって時間の短縮度合いが変化したり、効果が表れない場合があります。また、認証がうまく行われない場合はこのチェックをはずしてください。

注意 **・クイック認証は認証時の手順を省いたり、特徴点データの一部だけで認証を行うものではありませんが、よりセキュリティを重要視する場面ではこのチェックをはずすことをお勧めします。**

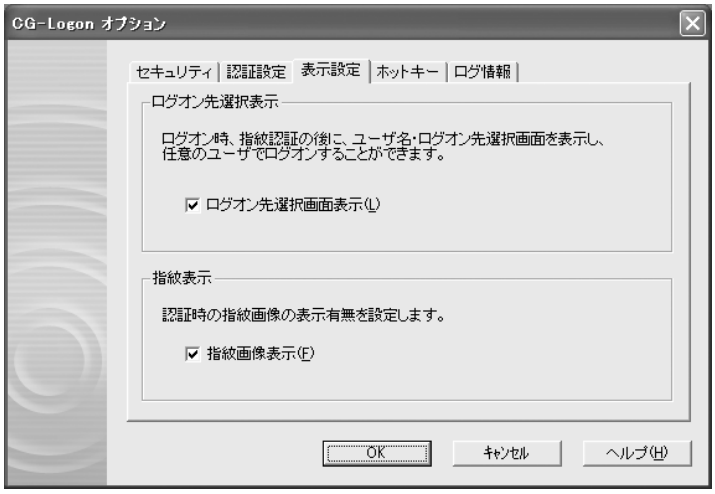
３６０°認証

通常の認証では、指紋画像が登録時と同じ方向に表示されるようにセンサに指を置かなければなりませんが、「３６０°認証（F)」にチェックを入れると、どの角度からセンサに指を置いても認証を行うことができます。

注意 **・特徴点データの回転を許しますので、セキュリティが下がる場合があります。**

6.3 表示設定

「オプション」画面の「表示設定」タブを選択することにより、ログオン先選択表示と、指紋表示の設定を行うことができます。



ログオン先選択表示

「ログオン先選択画面を表示する（L)」にチェックを入れると、ログオンの指紋認証後に、ユーザ名・パスワード・ログオン先を選択する画面が表示され、任意のユーザでログオンすることができます。

注意 **・指紋認証後は通常のWidnowsログオンと同様になります。よりセキュリティを重視する場面では、このチェックをはずしておくことをお勧めします。**

指紋表示

「指紋画像を表示する（F)」のチェックをはずすと、指紋認証画面に指紋画像が表示されなくなり、指紋画像の変わりに、CG-Biometrics Suiteのロゴ画像が表示されます。

注意 **・指紋画像がでてこないため、指の位置を調節しにくくなります。センサに指を置く動作に慣れていない場合は、チェックをいれておくことをお勧めします。**

6.4 ホットキー

「オプション」画面の「ホットキー」タブを選択することにより、管理者ホットキーと、認証開始ホットキーの設定を行うことができます。

管理者ホットキー

指紋認証画面の表示中に、ここで設定しホットキーを入力すると、管理者パスワード入力画面が表示されます。この画面での管理者名とパスワード認証は指紋認証の代替となりますので、CG-Biometrics Suiteの管理者は、指紋認証を行うことなくログオンやユーザ管理、オプション、スクリーンセーバー ロックの解除ができます。
ホットキーは、Ctrlキーと、Altあるいは Shiftキーと、任意の英数字の組み合わせに設定することができます。コンボボックスから使用するキーを選択してください。

注意

- **他のアプリケーションが使用しているホットキーも設定することはできません。ただし、この設定後に起動したアプリケーションのホットキーと重複した場合は、CG-Logonのホットキーが使用できない場合があります。**
- **管理者パスワード入力は指紋認証の代替となりますので、管理者ホットキーの設定はセキュリティ上重要な項目となります。管理者ホットキーは定期的に変更を行うことをお勧めします。**

認証開始ホットキー

「Ctrl + Alt + Del キーの入力を行う（R)」のチェックをはずすと、ログオンやスクリーンセーバー ロック解除認証前のCtrl+Alt+Delキーの入力を省略することができます。ただし認証画面が閉じた場合、もう一度認証画面を表示するには認証開始ホットキーの入力が必要になります。

注意

・Ctrl + Alt + Del キーの入力は、パスワードがログオンアプリケーション以外のものに入力されることを防止する操作です。よりセキュリティを重視する環境では、チェックを入れておくことをお勧めします。

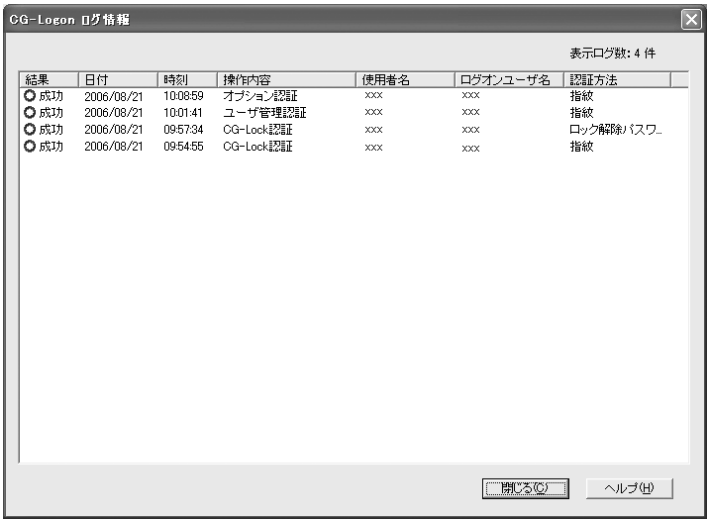
6.5 ログ情報

「オプション」画面の「ログ情報」タブを選択することにより、CG-Logonのログ情報の表示と消去とログ情報のエクスポートを行うことができます。

ログ情報の表示と消去

●ログ情報の表示

［表示（V)］をクリックするとログ情報画面が表示されます。



ログの表示は、左端から「結果」「日付」「時刻」「操作内容」「使用者名」「ログオンユーザ名」「認証方法」となっています。結果の左に表示されているアイコンは「○」が成功、「×」が失敗を表しています。

「認証方法」には、操作内容の認証が指紋認証で行われた場合は「指紋」、ログオン先選択画面で認証が行われた場合は「ログオン先選択」が表示され、管理者パスワードで行われた場合は「パスワード」が表示されます。(操作内容が「ログオフ」「シャットダウン」「ユーザ新規登録」「ユーザ削除」の場合は、この欄は空欄となります。)

ログ情報は時間の新しいものから表示されていますが、各列の項目をクリックすることにより、その内容に関して昇順／降順を交互に切り替えて表示することができます。

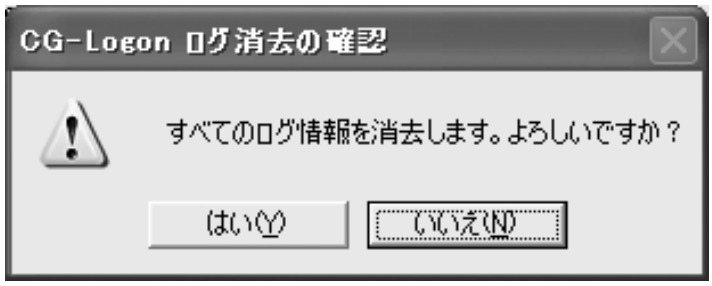
注意 **・ログ情報の最大表示数は５０００件までとなっています。これ以前のログについては新しいものに上書きされます。**

●ログ情報の保存日数

過去何日分のログを保存するかを設定します。設定範囲は０～９９日です。ただし、表示できるログは最新５０００件までとなっていますので、これ以前のログについては新しいものに上書きされます。

●ログ情報の消去

すべてのログ情報を消去します。ログ消去の確認ダイアログボックスが表示されますので、消去を行う場合は［はい（Y)］をクリックしてください。



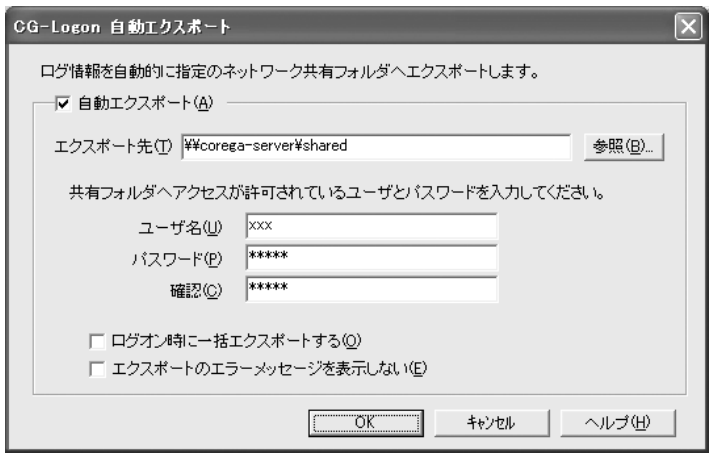
ログ情報のエクスポート

●エクスポート

[表示(V)]をクリックして表示されるログ情報をファイルにエクスポートするには、[エクスポート（E)]をクリックし、エクスポートファイルのファイル名を指定して保存します。保存されるファイルの形式は「csv（カンマ区切り)」です。

●自動エクスポート

ログ情報が更新されるたびに、指定のネットワーク共有フォルダへ自動的にエクスポートします。[自動エクスポート（A)]をクリックし、自動エクスポート設定画面からエクスポート先のフォルダパスなどを設定します。



自動エクスポート

[自動エクスポート（A)］にチェックをいれると、ログが更新されるたびに、フォルダパスに指定したネットワーク共有フォルダへ自動的にログ情報をエクスポートします。ただし、「ログオン認証」、「ログオフ」、「シャットダウン」、「ロック解除認証」、「パスワードの変更認証」、「アンインストール認証」のログ情報は、次回ログオン時か、これ以外のログ情報の更新が発生した際に、自動的にエクスポートされます。

フォルダパス

[参照（B)］をクリックして、「マイ ネットワーク」の中から共有フォルダを選択してください。\\ で始まるパスのみ指定できます。（例：\\PC-NAME\LogFolder）

ユーザ名とパスワード

「ユーザ名」には、フォルダパスに指定したフォルダへのアクセス権限のあるユーザ名を入力してください。このユーザは書き込み権限がなければなりません。共有フォルダのアクセス権限の詳細については Windows のヘルプなどを参照してください。
「パスワード」の欄に、指定ユーザのパスワードを入力して「確認」の欄にもう一度同じパスワードを入力します。

注意

・ユーザ名やパスワードが間違っている、またはネットワーク共有フォルダが見つからないなどの理由で自動エクスポートができない場合のログ情報は、一時保存され、正しい設定がされたときに自動エクスポートします。

一括エクスポート

「ログオン時に一括エクスポートする (O)」にチェックを入れると、ログ発生時にはエクスポートせずに、ログオン時に一括してエクスポートします。

エクスポートエラー

「エクスポートのエラー表示をしない (E)」にチェックを入れると、エクスポートに失敗した場合のエラーメッセージを表示しません。

注意

・ユーザ名やパスワードが間違っている、またはネットワーク共有フォルダが見つからないなどの理由で自動エクスポートができない場合のログ情報は、一時保存され、正しい設定がされたときに自動エクスポートします。

第7章 CG-Passについて

CG-Pass は指紋認証により、パスワードの自動入力を行うアプリケーションです。CG-Pass にパスワードを登録しておくと、目的の画面でセンサに指を置くだけでパスワードが入力されますので、いくつもパスワードを覚えておく必要がありません。また、パスワードの入力操作を他人に見られることもありませんので、セキュリティも確保します。

●パスワード入力

パスワードが登録されているウィンドウが開くと自動的に認証が始まりますので、指をセンサに置くだけでパスワードが入力されます。設定により、ホットキーで認証を開始することもできます。

●パスワード登録

パスワードの登録は、ウィンドウのガイドに従って操作を行うだけで簡単に行えます。パスワード登録時にはパスワードに対するコメントを付けることができますので、登録パスワードを管理しやすくなります。

●登録パスワード管理

メニューのオプションから登録パスワードが一覧表示され、パスワードの削除やコメントの編集を行うことができます。オプションの実行には登録ユーザの指紋認証が必要ですので、他のユーザに一覧を見られたり、操作をされる心配はありません。

7.1 パスワードの登録と入力

パスワードの登録手順

CG-Passにパスワードを登録する手順を説明します。登録には以下の2つの方法があります。

・システムトレイの CG-Pass アイコンから行う方法
・起動ホットキーによる方法

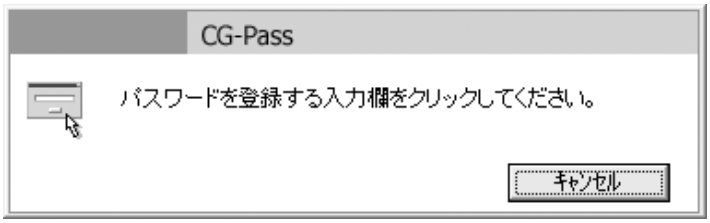
注意
- **ダブルクリック、ドラッグ操作、ホイールによるスクロール操作は記録されません。**
- **切り取り、コピー、貼り付けの操作は記録されません。**
- **記録は約１２７操作までです。（１操作とは、マウスの１クリックまたは一つのキー入力です。）入力が制限を越えた時点で自動的に登録が終了し、それまでの入力が登録されます。**
- **パスワードの記録中は、フォーカスを他のウィンドウに移動させないでください。**
- **パスワード入力後の［OK］ボタンなどの操作を記録に含めない場合は、そのボタン操作を行う前に、登録画面の［入力完了］をクリックするか起動ホットキーを入力して登録を完了してください。**
- **表示時に、前回の情報が既に入力されているようなダイアログボックスの場合、次の手順で登録を行ってください。**
  ①ダイアログボックスの表示後、登録を開始します。
  ②入力欄を選択し、「End」「Shift+Home」「Delete」で入力されている文字を削除します。
  ③通常通りパスワードを入力し、登録操作を行います。
- **パスワードの登録は最大 100 件までです。**

参考
- パスワードは 100 件まで登録可能です。
- パスワードの登録はログオンユーザのみ行うことができます。（CG-Logonのオプション設定「ログオン先選択画面を表示」の項目にチェックが入っている場合、ログオン認証時のユーザも登録することができます。）

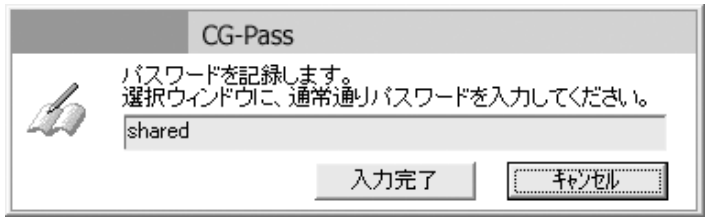
■ CG-Pass アイコンから登録

1. パスワードを登録するウィンドウを表示しておきます。

2. システムトレイのCG-Passアイコンを左クリックすると、次の登録画面が表示されます。

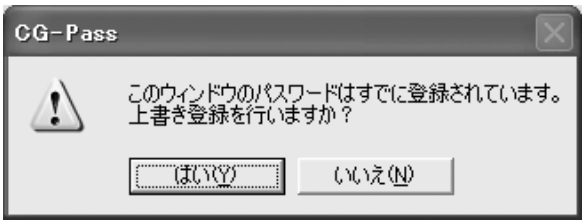


3. 登録を行う入力欄をクリックすると、選択されたウィンドウのタイトルが表示され、パスワードの記録を開始します。



・上書き登録

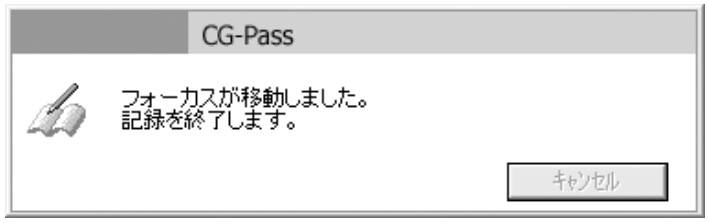
参考　手順3で、すでにパスワードがCG-Passに登録されているウィンドウを選択した場合は、上書き登録のメッセージボックスが表示されます。



上書き登録を行う場合は［はい（Y)］を、登録を中止する場合は［いいえ（N)］をクリックしてください。

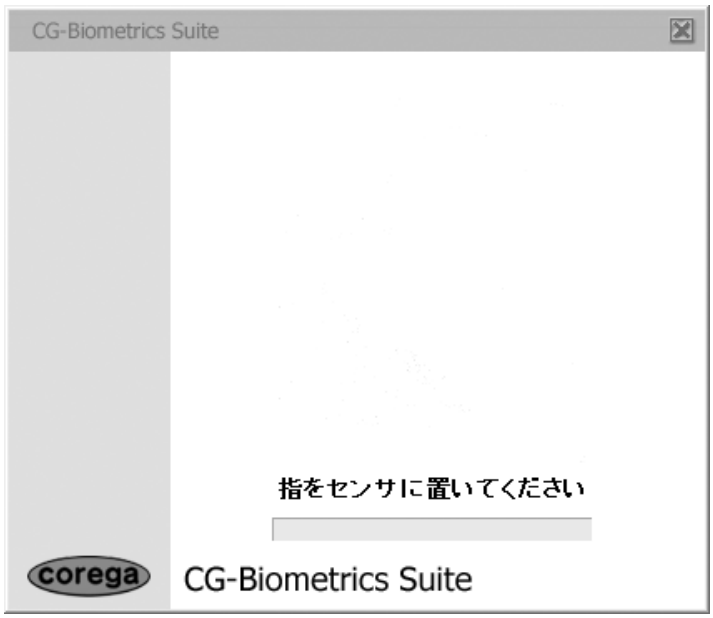
4. 選択したウィンドウに対してパスワードをキーボードから通常通りに入力します。[OK]ボタンなどの操作も通常通り行ってください。

5. パスワードが入力され、ウィンドウが切り替わると自動的にパスワードの記録を終了します。

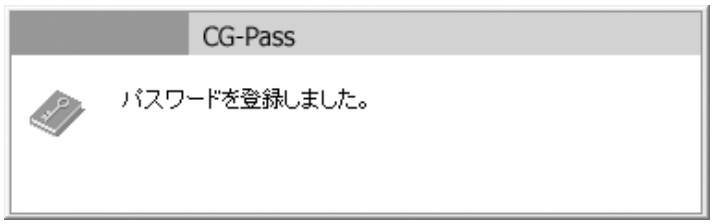


6. 続いてコメント編集画面が表示されるので、パスワードに対するコメントを入力します。

7. 登録ユーザがログオンユーザであることを確認するために指紋認証を行いますので、センサに指を置きます。



8. ユーザが認証されると、登録が完了します。



参考

・パスワードの登録中は、登録画面の［ｷｬﾝｾﾙ］をクリックすることにより、登録を中止することができます。

■起動ホットキーから登録

1. パスワードの登録を行うウィンドウを選択します。

2. 設定されている起動ホットキーを入力すると登録ウィンドウが表示されます。

3. 以降はCG-Passアイコンから登録を行った場合の「手順4」と同様の操作となります。

パスワードの入力手順

CG-Passに登録されているパスワードを使用して、パスワードの入力を行う手順を説明します。入力には以下の方法があります。

・自動起動による方法
・起動ホットキーによる方法

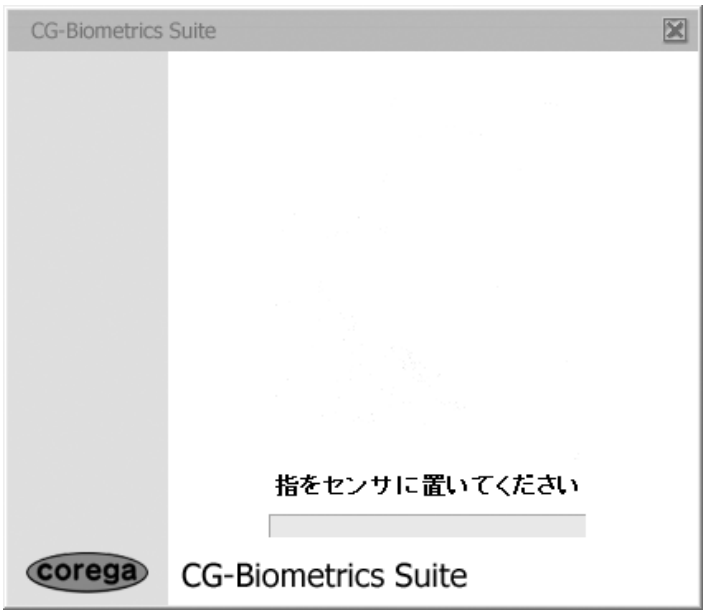
パスワードの入力はログオンユーザのみ行うことができます。(CG-Logonのオプション設定「ログオン先選択画面を表示」の項目にチェックが入っている場合、ログオン認証時のユーザも入力することができます。)

注意

・認証中およびパスワード入力中は、マウス操作やキーボード入力を行わないでください。
・テキストボックス、コンボボックス、チェックボックスなどは、登録時と同じ状態にしてから入力を行ってください。
・Num Lock キー、Caps Lock キー、全角半角などは、登録時と同じ状態にしてから入力を行ってください。
・web 画面に入力を行う場合は、画面内容が完全に表示されてから指紋認証を行ってください。
・画面サイズ、フレームの有り無しなどの画面構成は登録時と同じ状態にしてください。
・画面サイズが登録時と異なっている場合、パスワード入力後に登録時のサイズに変更されます。

■自動起動による入力

自動起動を使用している場合は、パスワードが登録されているウィンドウがアクティブな状態（ウィンドウが開いたときや、ウィンドウが選択された場合など）になると、自動的に指紋認証画面が表示されますので、センサに指を置きます。



指紋認証に成功すると、登録パスワードが入力されます。

注意

・一度自動起動によりパスワードの入力を行ったウィンドウに対しては、新しくウィンドウが開かれるまで自動起動はかかりません。再度パスワードの入力を行う場合は、起動ホットキーによる入力を実行してください。

■起動ホットキーから入力

自動起動を使用していない状態や、自動起動により一度パスワードを入力したウィンドウに対して再度パスワードを入力する場合は、起動ホットキーを使用します。パスワードの入力を行うウィンドウを選択し、起動ホットキーを入力すると指紋認証画面が表示されます。指紋認証に成功すると、登録パスワードが入力されます。

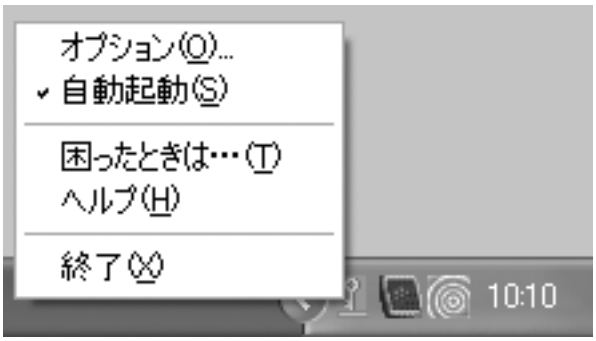
7.2 自動起動

自動起動を有効にすると、CG-Passにパスワードを登録済みのウィンドウがアクティブな状態（ウィンドウが開いたときや、ウィンドウが選択された場合など）になったとき、指紋認証画面が起動します。認証に成功するとパスワードが自動的に入力されます。ここでは、自動起動の有効／無効を切り替える方法について説明します。

注意
・一度入力を行ったウィンドウに対しては、新しく開かれるまで自動起動はかかりませんので、再度入力を行う場合は起動ホットキーによりパスワードの入力を開始してください。

1. システムトレイに常駐しているCG-Passアイコンを右クリックします。

2. 表示されるメニューから「自動起動（S)」を選択します。



メニューの項目にチェックが入っている場合は、自動起動が有効であることを示しており、選択されるごとに、交互に有効／無効が切り替わります。

参考
・自動起動の設定はオプションの「自動起動」でも行うことができます。
・「終了(X)」は、CG-Biometrics Suiteの管理者がログオンしている場合にのみ表示されます。

7.3 オプション

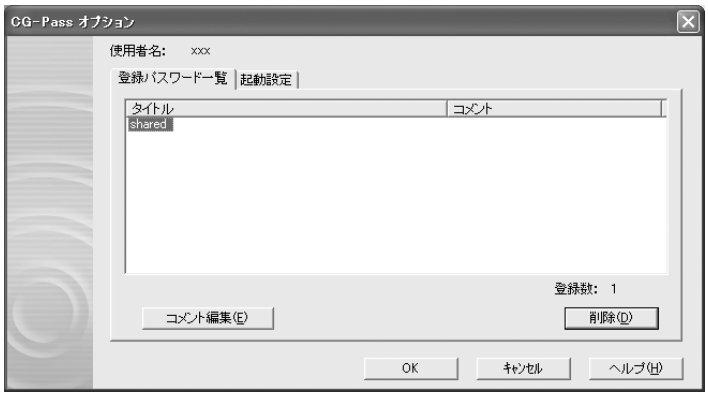
CG-Pass のオプションを実行します。

1. システムトレイの CG-Pass アイコンを右クリックします。
2. 表示されるメニューから「オプション（O)」を選択します。
3. ログオンユーザが認証されるとオプション画面が表示され､ログオンユーザのCG-Passに関するオプションの設定を行うことができます。

参考
・CG-Logonのオプション設定｢ログオン先選択画面を表示｣の項目にチェックが入っている場合、ログオン認証時のユーザも認証することができます。

登録パスワード一覧

ここでは、使用者の登録パスワードが表示されます。また、パスワードの削除、コメントの編集を行うことができます。



登録パスワード一覧の表示は､オプション画面を開いた時点では登録順（最新のものが一番上）に表示されますが、リスト上部の「タイトル」または「コメント」をクリックすることにより、昇順／降順に表示を切り替えることができます。

参考
・パスワードは最大１００件まで登録することができます。

■コメントの編集

1. 登録パスワード一覧中の登録ウィンドウのタイトルをダブルクリックするか、選択して［コメント編集（E)］をクリックすると、コメント編集画面が表示されます。

2. 「コメント」の欄に入力を行い、［OK］をクリックして入力を終了します。

参考

・コメントの文字数は半角２５５文字までです。

■登録パスワードの削除

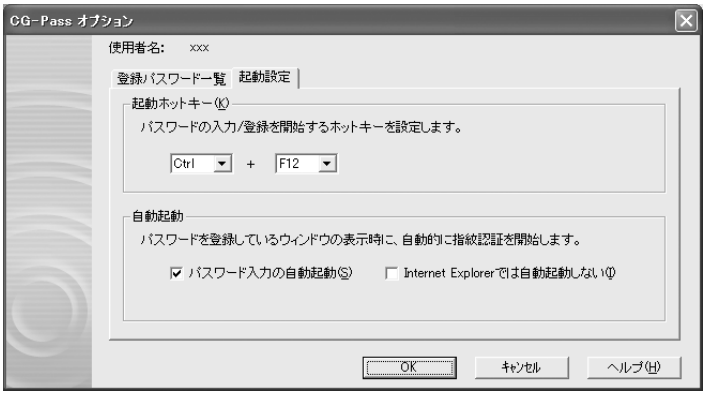
登録したパスワードを削除するには､登録パスワード一覧から該当する登録ウィンドウのタイトルを選択し、［削除（D)］をクリックします。登録パスワード一覧から表示が消え、登録数が減ります。

注意

・コメント編集、および削除は、オプション画面の［OK］をクリックした時点ではじめて反映されますので、間違ってコメント編集、削除を行った場合は、［ｷｬﾝｾﾙ］をクリックしてオプションを終了してください。

起動設定

ここでは、起動ホットキーと自動起動の設定を行います。



■起動ホットキー

起動ホットキーを、[Ctrl][Shift]と[F2][F3][F4][F7][F8][F9][F12]の組み合せで設定します。起動ホットキーを入力すると、CG-Passにパスワードが登録されているウィンドウに対してはパスワードの入力、パスワードが登録されていないウィンドウに対してはパスワードの登録が開始します。また、パスワード登録中にこのホットキーを使用すると、登録ガイド画面の［入力完了］をクリックした場合と同様の動作となります。

注意

・他のアプリケーションが既に使用しているホットキーは設定できません。また、他のアプリケーションとホットキーが重複した場合はCG-Passの動作が優先されるなど、正常に動作しない場合がありますので、重複を避けて設定を行ってください。

■自動起動

パスワード入力の自動起動

「パスワード入力の自動起動」にチェックを入れると、自動起動が有効となります。自動起動が有効な状態では、パスワードがCG-Passに登録されているウィンドウがアクティブな状態（ウィンドウが開いた時や、ウィンドウが選択された場合など）になると、自動的にパスワードの入力が開始します。ただし、一度入力を行ったウィンドウに対しては、新しく開かれるまで自動起動はかかりませんので、再度入力を行う場合は起動ホットキーによりパスワードの入力を開始してください。

参考

・自動起動の設定はメニューの「自動起動（S)」で設定することもできます。

Internet Explorer では自動起動しない

自動起動を行う場合、Internet Explorerへのパスワード入力方法を設定することができます。Internet Explorer でのパスワード入力を自動的に行うには、「Internet Explorer では自動起動しない（I)」のチェックをはずしてください。ただし、Web ページの内容が表示される前に指紋認証に成功した場合は、パスワードの入力がうまく行われないことがあります。このような場合には、この項目にチェックを入れ、画面が表示されてから起動ホットキーによるパスワードの入力を開始してください。

参考

・ダイアルアップ接続を使用しているなどWebページの表示に時間がかかる環境では、手動起動を行うことをお勧めします。

注意

・起動ホットキー、自動起動の設定は、オプション画面の［OK］ボタンをクリックした時点ではじめて反映されます。

第8章 CG-Lockについて

CG-Lockは指紋認証により、ファイル・フォルダをロックするアプリケーションです。ロックされたファイルの中身は暗号化され、他の人から見られる心配はありません。ロックの解除もセンサに指を置くだけでできき、ロック解除の権限も設定することができますので、複数のユーザでロックされたファイルを共有することができます。

8.1 ファイルのロック手順

CG-Lockでファイル・フォルダをロックする手順を説明します。ロックには次の２つの方法があります。

・右クリックメニューから行う方法
・CG-Lockのショートカットへドラッグ＆ドロップで行う方法

注意

・次のファイルやフォルダ、そのフォルダ内のファイル、サブファイルはロックをかけることができません。

○次のフォルダとそのフォルダ内でのロックは行えません。
- **Windowsフォルダとそのサブフォルダ**
- **Documents and Settingフォルダとそのサブフォルダ。（ログオンユーザのMy Documentsとデスクトップフォルダとそのサブフォルダを除く）**
- **Program Filesフォルダとそのサブフォルダ**
- **CG-Biometrics Suiteフォルダとそのサブフォルダ**

○ロック解除権限を「CG-Biometrics Suiteの登録ユーザすべて」に設定した場合、他のCG-Biometrics Suiteをインストールしている環境でもロック解除できるようになります。その場合、必要に応じて「ロック解除パスワード」を設定してください。

○使用中のファイルはロックできません。

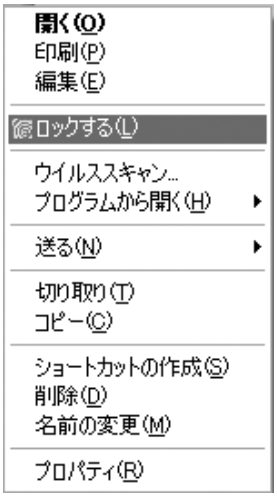
○「マイ コンピュータ」、「ごみ箱」、「コントロールパネル」などの特殊フォルダ、またはドライブ単位でのロックはできません。

右クリックメニューからロック

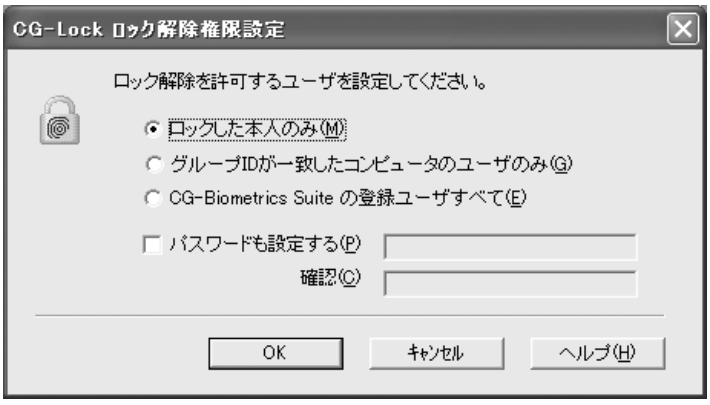
右クリックメニューでロックする手順を説明します。

1. ロックしたいファイルを選択します。

2. 右クリックで表示されたメニューから［ロックする（L)］を選択します。



3. CG-Lock ロック解除権限設定画面が表示されるので、ロック解除を許可するユーザを設定します。



・ロックした本人のみ
ロックした本人のみロック解除することができます。

・グループ ID が一致したコンピュータのユーザのみ
ファイルをロックしたコンピュータのグループ ID 設定が一致するコンピュータのユーザすべてが、ロック解除することができます。

・CG-Biometrics Suite の登録ユーザすべて
CG-Biometrics Suiteに登録されているユーザすべてがロック解除することができます。

・「パスワードも設定する（P)」にチェックを入れると、ロック解除パスワードを設定することができます。パスワードを設定すると、ロック解除時の指紋認証後に、ロック解除パスワード入力画面が表示されるようになります。

参考
・ロック中は、変換画面の［中断（A)］を選択することにより、いつでもロックを中断することができます。[中断(A)]をクリックするまでにロックされたファイルは元の状態には戻りませんので、必要に応じてロック解除の操作を行ってください。
・パスワードの文字数は半角１２７文字までです。

4. CG-Lock変換中画面が表示され、ロック処理されているファイルと、進行状況が表示されます。

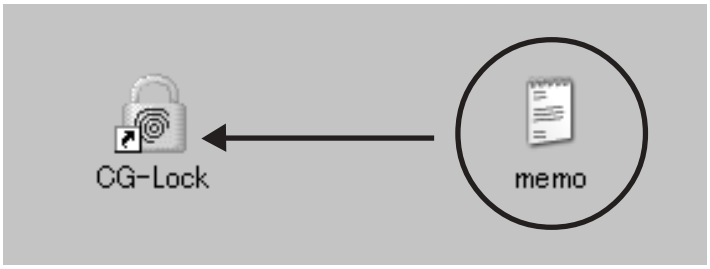
参考
・すでにロックされているファイルが存在している場合は、上書き確認画面が表示されます。

上書きを行うには［はい（Y)］を、すべて上書きを行う場合は［すべて上書き（A)］を、上書きを行わない場合は［いいえ（N)］を、ロック操作を中止する場合は［ｷｬﾝｾﾙ］をクリックしてください。

5. ファイルがロックされ、“ .CGL ”がついたファイル（フォルダをロックした場合）ができあがります。

CG-Lockのショートカットにドラッグ＆ドロップでロック

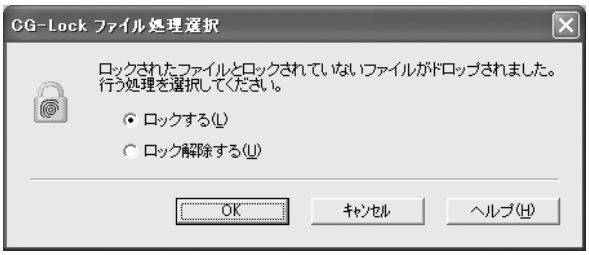
1. ロックしたいファイルをデスクトップのCG-Lockのアイコンへドラッグ＆ドロップします。



2. 以降は右クリックメニューからロックを行った場合の手順3と同様の操作となります。

参考

・ロックされていないファイルと、ロックされたファイルをまとめてドラッグ＆ドロップされた場合は、処理を選択する画面が表示されます。



ロックをする場合は［ロックする（L)］を、ロック解除する場合は［ロック解除する（U)］を選択して、[OK]をクリックしてください。

8.2 ファイルのロック解除手順

ロックされたファイルやフォルダのロック解除を行います。ロック解除には次の３つの方法があります。

・右クリックメニューから行う方法
・ドラッグ＆ドロップで行う方法
・ダブルクリックで行う方法

注意

○次のフォルダとそのフォルダ内でのロック解除は行えません。

・Windows フォルダとそのサブフォルダ

・Documents and Settingフォルダとそのサブフォルダ。（ログオンユーザのMy Documents とデスクトップフォルダとそのサブフォルダを除く）

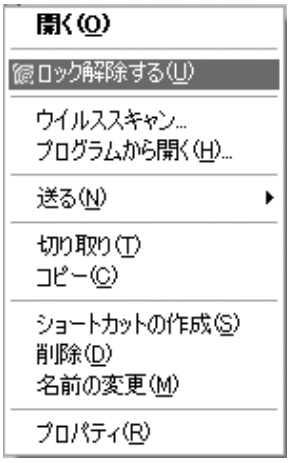
・Program Files フォルダとそのサブフォルダ
・CG-Biometrics Suite フォルダとそのサブフォルダ

右クリックメニューからロック解除

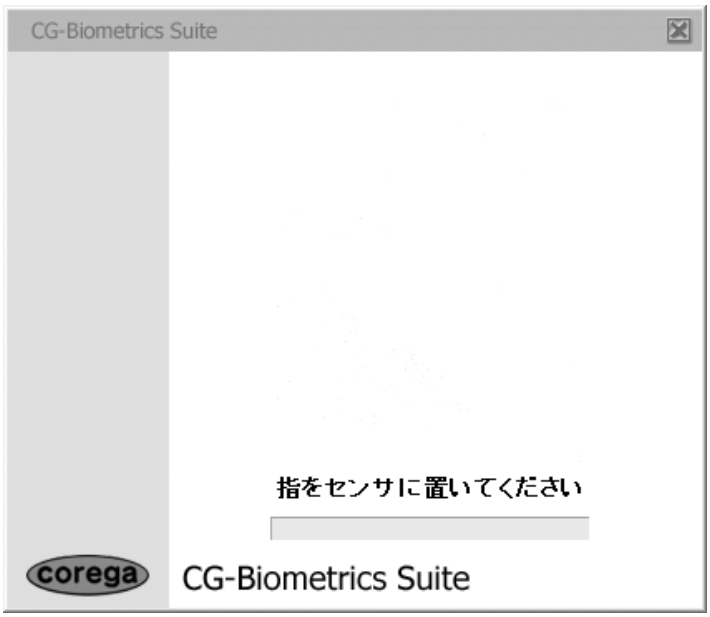
右クリックメニューからロック解除する手順を説明します。

1. ロック解除したいロックファイルを選択します。

2. 右クリックで表示されたメニューから［ロック解除する（U)］を選択します。



3. 指紋認証画面が表示されます。指紋認証により、ロック解除権限が認証されると、ロック解除が実行されます。



4. ロック解除パスワードが設定されているファイルの場合は、パスワード入力画面が表示されるので、ロック時のパスワードを入力します。

5. 次の画面が表示され、ロック解除処理されているファイルと、進行状況が表示されます。

参考

・ロック解除中は、変換画面の［中断（A)］を選択することにより、いつでもロック解除を中断することができます。[中断 (A)] を押すまでにロック解除されたファイルは元の状態には戻りませんので、必要に応じてロックの操作を行ってください。

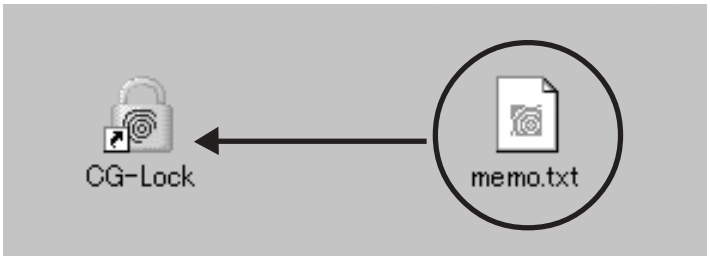
参考

・すでにロック解除されているファイルが存在している場合は、上書き確認画面が表示されます。フォルダの場合は上書きできません。

上書きを行うには［はい（Y)］を、すべて上書きを行う場合は［すべて上書き（A)］を、上書きを行わない場合は［いいえ（N)］を、ロック解除操作を中止する場合は［ｷｬﾝｾﾙ］をクリックしてください。

CG-Lockのショートカットにドラッグ＆ドロップでロック解除

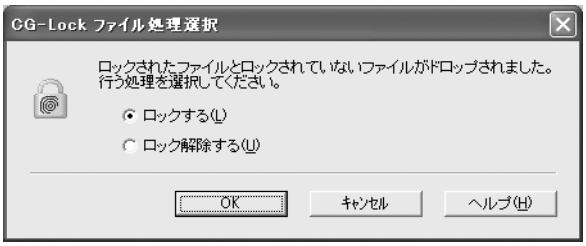
1. ロック解除したいファイルをデスクトップのCG-Lockのアイコンへドラッグ＆ドロップします。



2. 以降は右クリックメニューからロックを行った場合の手順3と同様の操作となります。

参考

・ロックされていないファイルと、ロックされたファイルをまとめてドラッグ＆ドロップされた場合は、処理を選択する画面が表示されます。



ロックをする場合は［ロックする（L)］を、ロック解除する場合は［ロック解除する（U)］を選択して、[OK]をクリックしてください。

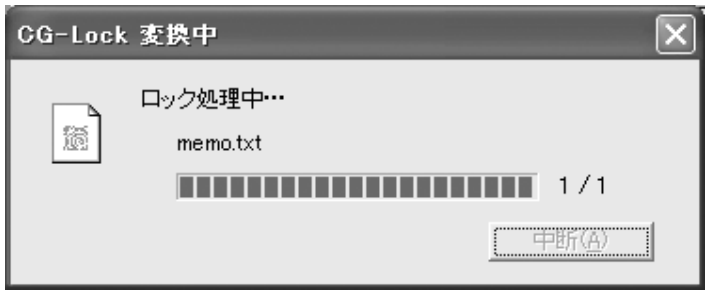
ロックファイルのダブルクリックでロック解除

1. ロックファイルをダブルクリックします。

2. 以降は右クリックメニューからロック解除を行った場合の手順3～5と同様の操作となります。

3. ロック解除後、ファイルが実行されます。

4. ファイルの使用後、自動的にロックされます。



8.3 プロパティ

ロックファイルの作成者や、ロック解除権限などのファイル情報を確認することができます。ロックファイルのファイル情報を確認するには、ロックされたファイル・フォルダの右クリックメニューから「プロパティ（R)」を選択し、表示される画面で「CG-Lock」のタブを選択します。複数ファイルが選択されている場合は、「CG-Lock」のタブは表示されません。

■作成者

このファイルをロックしたユーザが表示されます。

■ロック解除権限

このファイルのロックを解除できるユーザの権限が表示されます。ロック解除権限は、「ロックした本人のみ」、「グループ ID が一致したコンピュータのユーザのみ」、「CG-Biometrics Suite の登録ユーザすべて」のいずれかです。

■パスワード設定

このファイルのロックを解除するために、パスワードが必要かどうか表示されます。

8.4 オプション

オプションを実行するには、デスクトップのCG-Lockアイコンをダブルクリックすると認証画面が表示され、CG-Biometrics Suiteの管理者が認証されると、CG-Lockに関するオプションの設定を行うことができます。

注意 **・オプション（ｱﾌﾟﾘｹｰｼｮﾝ）の操作を行うには、CG-Biometrics Suiteの管理者認証が必要です。**

アプリケーションロック

アプリケーションが起動するときに、ロックすることができます。ロック解除できるユーザの設定は、CG-Biometrics Suiteに登録されているユーザすべてとCG-Biometrics Suiteの管理者が選択でき、設定ユーザ以外にアプリケーションを実行される心配はありません。

注意 **・アプリケーションの登録と解除はCG-Biometrics Suiteの管理者権限をもつユーザの認証が必要です。**

■登録手順

1. デスクトップの CG-Lock アイコンをダブルクリックすると認証画面が表示されるので、CG-Biometrics Suite の管理者で認証を行います。
2. オプションの登録アプリケーション一覧画面が表示されるので、[登録] をクリックし、ファイル選択画面からアプリケーションを選択するか、アプリケーション一覧画面に、登録したいアプリケーションをドラッグ＆ドロップします。
3. 詳細設定画面が表示されるので、アプリケーションの実行を許可するユーザ選択し、必要に応じてコメントを入力し、[OK] をクリックします。

注意

・アプリケーションを登録しロックしても、コマンドプロンプトから起動できます。コマンドプロンプトからの起動もロックしたい場合、コマンドプロンプト（cmd.exe）も登録してください。
・アプリケーションロックの認証中に、他のアプリケーションロックに登録されているアプリケーションの起動は行えません。現在の認証を終了してから、起動を行ってください。
・アプリケーションロックの認証中は、起動元のフォルダ（デスクトップのショートカットから起動した場合、デスクトップ）がロックされるので、フォルダ内の操作は行えません。操作を行いたい場合は、認証を行うか、認証を中断してください。

■解除手順

1. デスクトップのCG-Lockアイコンをダブルクリックすると認証画面が表示されるので、CG-Biometrics Suiteの管理者で認証を行います。
2. オプションの登録アプリケーション一覧画面が表示されるので、登録解除したいアプリケーションを選択し、［解除］をクリックします。
3. ［OK］をクリックし、オプションを終了します。

第9章 アンインストール

9.1 CG-Biometrics Suiteのアンインストール

本章では、CG-Biometrics Suiteのアンインストールの方法について説明します。
アンインストールを行うと、下記のアプリケーションがアンインストールされます。

- CG-Logon
- CG-Pass
- CG-Lock

CG-Biometrics Suite アンインストール手順

注意
- **CG-Biometrics Suiteをアンインストールした場合、ロックされたファイル（拡張子が.CGL）はロック解除できなくなりますので、必要なファイルはロック解除を行ってから、アンインストールするようにしてください。**
- **アンインストールを実行するにはCG-Biometrics Suiteの管理者の認証が必要です。**

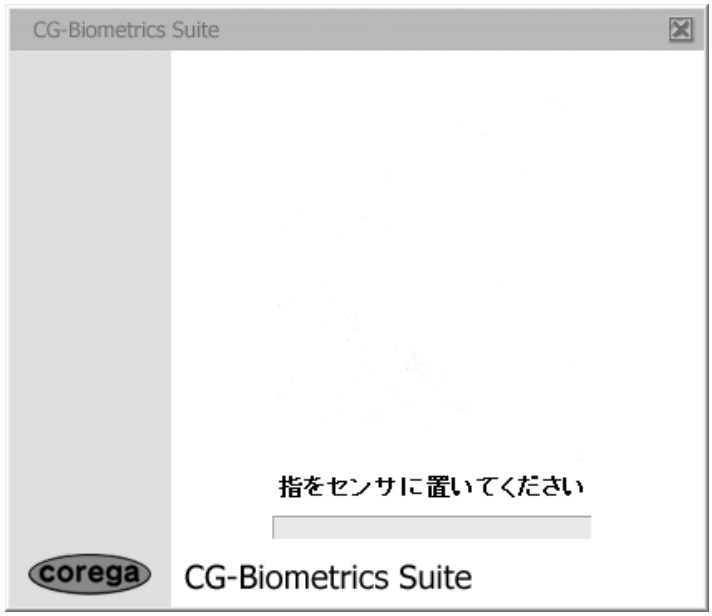
以下にCG-Biometrics Suite アンインストール手順について説明いたします。

1. スタートメニューから 「(すべての)プログラム」-「CG-Biometrics Suite」-「アンインストール」を選択します。

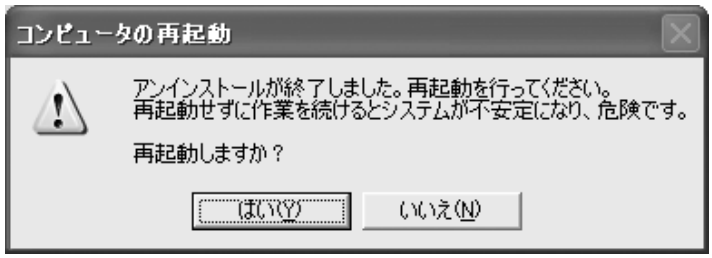
参考
- **Windows の「アプリケーションの追加と削除」から「CG-Biometrics Suite」を選択することでもできます。**

2. CG-Biometrics Suite アンインストールの開始画面が表示されるので、「OK」を選択します。

3. 指紋認証画面が表示されます。指紋認証により、CG-Biometrics Suiteの管理者が認証されると、アンインストールが実行されます。



4. コンピュータの再起動確認画面が表示されます。アンインストール終了後は、システムの動作が不安定になることがありますので、必ず[はい(Y)]をクリックして、パソコンを再起動してください。



第10章 Q&A

本商品を使っていて「困ったな」、「うまく動かない…」と思ったときや疑問があったときは、この章で解決方法を探してください。

解決のステップ

①この章の Q&A を確認する

< トラブルは？ >

- CG-Biometrics Suite のセットアップで、指紋センサの接続画面で止まり先に進まない。
- 指紋が登録できない。
- CG-SECFPP で採取した指紋画像の上下が逆に表示される。
- 指紋の追加登録、または、ユーザの追加登録の方法が分からない。
- 指紋登録した指を怪我してしまい指紋認証に失敗してしまう。

↓ （それでも解決できない場合は…）

②コレガのホームページ(http://corega.jp/)の情報を活用する

↓ （それでも解決できない場合は…）

③それでも解決しない場合は、サポート窓口に問い合わせてみる

連絡先は「ご使用の前に」の「商品に関するご質問は…」をご覧ください。

Q&A

■ CG-Biometrics Suite のセットアップで、指紋センサの接続画面で止まり先に進まない。

CG-Biometrics Suite をセットアップする前に指紋センサをパソコンに接続した場合に、この現象が発生する場合があります。この状態になったときは、パソコンから指紋センサを取り外して、CG-Biometrics Suite のセットアップを一旦終了して、再度セットアップを実行してください。その際は、CG-Biometrics Suite のセットアップで指紋センサの接続画面が表示されたタイミングで、指紋センサをパソコンに接続してください。

■指紋が登録できない。

1 指の置き方がよくないと、正しく登録できない場合があります。指紋を登録する際は、実際に指紋センサで認証を行うときの姿勢でゆっくりとリラックスして、指紋センサに指を置いてください。また、指紋の渦の中心付近が、指紋センサの中央より少し下になるように指を置いてください。

2 指が乾燥していたり、指が汗や水で濡れていたりすると、正しく登録できない場合があります。指が乾燥している場合は、ハンドクリームや額の油分などで保湿してから指紋センサに指を置いてください。指が汗や水で濡れている場合は、指の汗や水を良く拭き取って、指紋センサ表面に残った汗や水を拭き取ってから、指紋センサに指を置いてください。

■ CG-SECFPP で採取した指紋画像の上下が逆に表示される。

CG-Logon の「指紋センサ」設定を変更することで指紋画像を正しい方向に表示することができます。タスクトレイに表示されている CG-Logon アイコンを右クリックして、表示されたメニューから「指紋センサ」をクリックします。CG-Logon 指紋センサ設定画面が表示されますので、「PC カードスロット位置」設定で、CG-SECFPP が接続されている PC カードスロットの位置を「左」または「右」から選択します。設定が完了したら「OK」をクリックします。

■指紋の追加登録、または、ユーザの追加登録の方法が分からない。

指紋、または、ユーザの追加登録は CG-Logon の「ユーザ管理」で行います。タスクトレイに表示されている CG-Logon アイコンを右クリックして、表示されたメニューから「ユーザ管理」をクリックします。CG-Biometrics Suite の管理者認証画面が表示されますので指紋認証を行います。CG-Biometrics Suite ユーザ管理画面が表示されます。
登録済みのユーザに指紋を追加登録する場合は、該当のユーザを選択した後、「次へ」をクリックして、指紋データ登録画面まで進みます。指紋データ登録画面で追加する指紋を登録します。
新規に CG-Biometrics Suite で管理するユーザを追加する場合は、「新規登録」を選択した後、「次へ」をクリックして、各画面で必要情報を入力します。

詳細は「第 5 章 ユーザ管理」を参照してください。

■指紋登録した指を怪我してしまい指紋認証に失敗してしまう。

1 CG-Biometrics Suite に複数の指の指紋を登録している場合は、怪我をした指とは別の指で操作してください。指の怪我が表皮の怪我であれば、傷が治ると指紋が元の状態に再生しますので、怪我が治ったあとはそのままご利用いただけます。指の怪我が深い傷の場合は、指紋が元の状態に再生しないことがあります。この場合は、怪我をした指の指紋を再度登録しなおしてください。
指紋の再登録は、CG-Logon の「ユーザ管理」で行います。

詳細は「第 5 章 ユーザ管理」を参照してください。

2 CG-Biometrics Suite に怪我をした指以外の指紋を登録していない場合は、怪我をした指とは別の指の指紋を登録する必要があります。指紋の追加登録は CG-Logon の「ユーザ管理」で行います。「ユーザ管理」を起動した際に指紋認証画面が表示されますので、「管理者ホットキー」を入力して「管理者パスワード認証」を行ってください。認証に成功すると「ユーザ管理」が起動しますので指紋の追加登録を行ってください。

「管理者パスワード認証」の詳細は「3.2 管理者パスワード認証」を参照してください。
「管理者ホットキー」の詳細は「6.4 管理者ホットキー」を参照してください。
指紋の追加登録の詳細は「第 5 章 ユーザ管理」を参照してください。

おことわり

・ 本書は、株式会社コレガが作成したもので、全ての権利を弊社が保有しています。弊社に無断で本書の一部または全部をコピーすることを禁じます。
・ 予告なく本書の一部または全体を修正、変更することがありますがご了承ください。
・ 改良のため商品の仕様を予告なく変更することがありますがご了承ください。

Copyright © 2006 株式会社コレガ
corega は、株式会社コレガの登録商標です。
Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
その他、この文書に掲載しているソフトウェアおよび周辺機器は各メーカの商標または登録商標です。

2006 年 8 月 初版